

10. 行政サービスについて

(1) 行政サービスの在り方と利用者負担について

問49. 公の施設を適正に維持管理するに当たって、現在の利用者負担では、現状のサービス水準の維持が困難となった場合、あなたは、今後の施設利用料の利用者負担について、どのように考えますか。(最もあてはまるものに1つだけ○印)

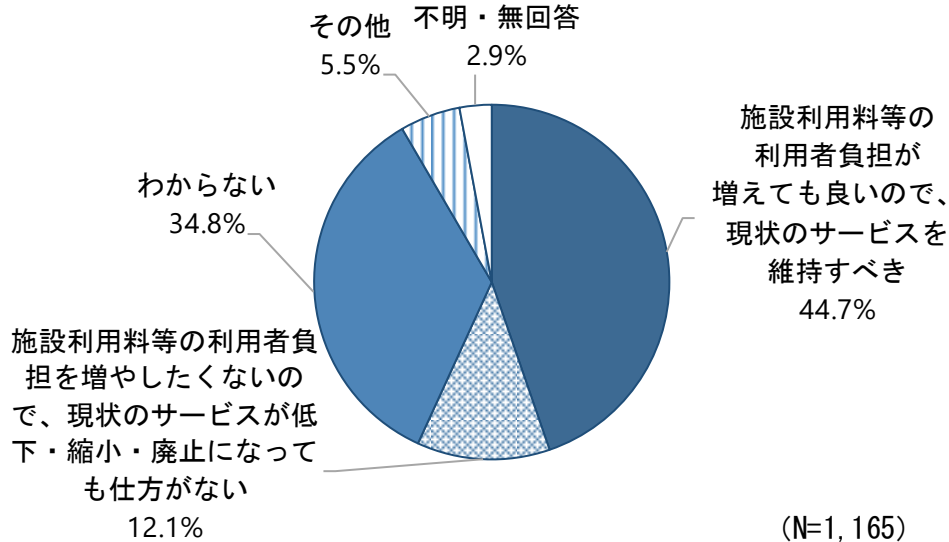


図 3. 10. 1 行政サービスの在り方と利用者負担について

○行政サービスの在り方と利用者負担について(図3. 10. 1)は、「施設利用料等の利用者負担が増えても良いので、現状のサービスを維持すべき」が最も多く44.7%、次いで、「わからない」が34.8%、「施設利用料等の利用者負担を増やしたくないので、現状のサービスが低下・縮小・廃止になっても仕方がない」が12.1%となっている。

○性別(図3. 10. 2)にみると、「施設利用料等の利用者負担を増やしたくないので、現状のサービスが低下・縮小・廃止になっても仕方がない」では、女性(10.2%)に比べ男性(14.4%)の方が4.2ポイント高くなっている。

○年齢別にみると、「施設利用料等の利用者負担が増えても良いので、現状のサービスを維持すべき」では、50歳代(50.5%)が最も多く、「施設利用料等の利用者負担を増やしたくないので、現状のサービスが低下・縮小・廃止になっても仕方がない」では、40歳代(16.9%)が最も多くなっている。

○居住地域別にみると、「施設利用料等の利用者負担が増えても良いので、現状のサービスを維持すべき」では、山田・千里丘地域(49.5%)が最も多くなっている。

○職業別にみると、「施設利用料等の利用者負担が増えても良いので、現状のサービスを維持すべき」では、経営者、重役、役員(53.1%)が最も多く、「施設利用料等の利用者負担を増やしたくないので、現状のサービスが低下・縮小・廃止になっても仕方がない」では、自営業主、自由業者、家族従業者が2割台となっている。

○居住年数別にみると、「施設利用料等の利用者負担が増えても良いので、現状のサービスを維持すべき」では、30～40年未満(54.1%)が最も多くなっている。

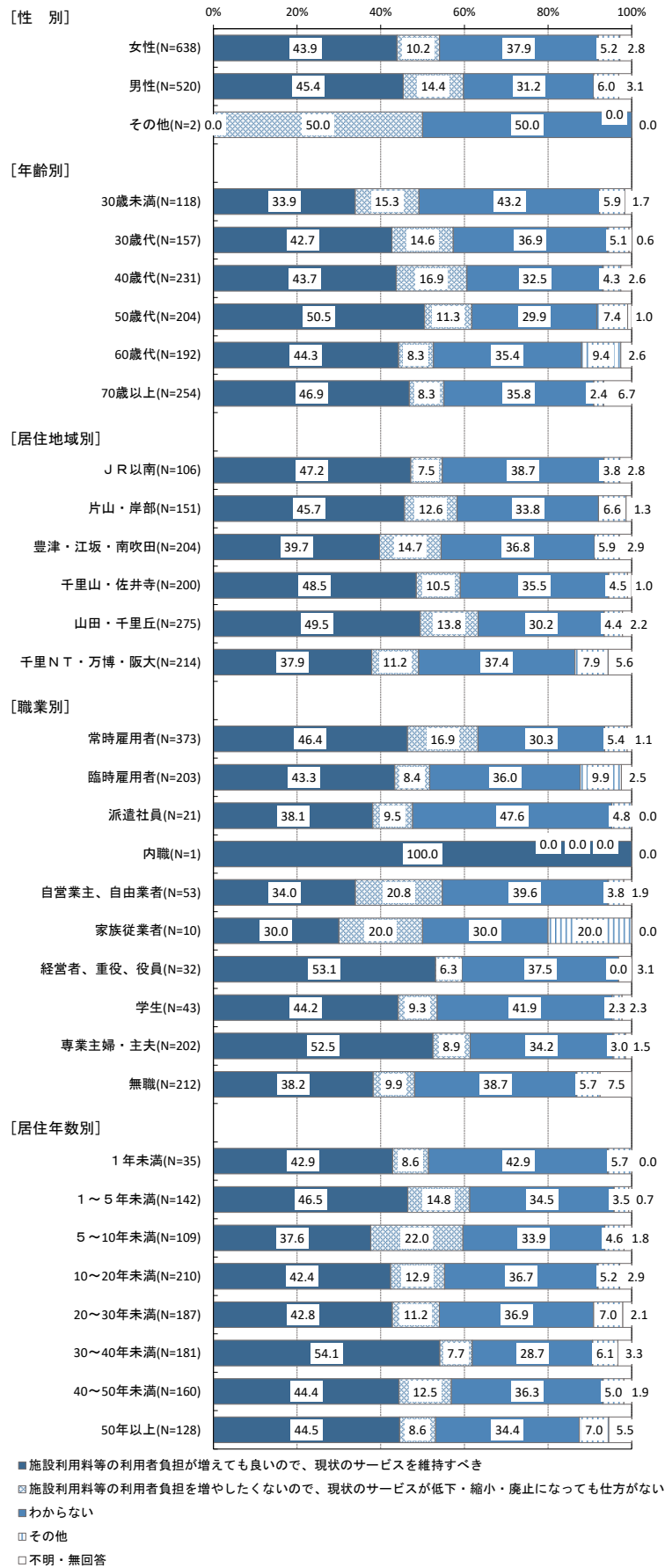
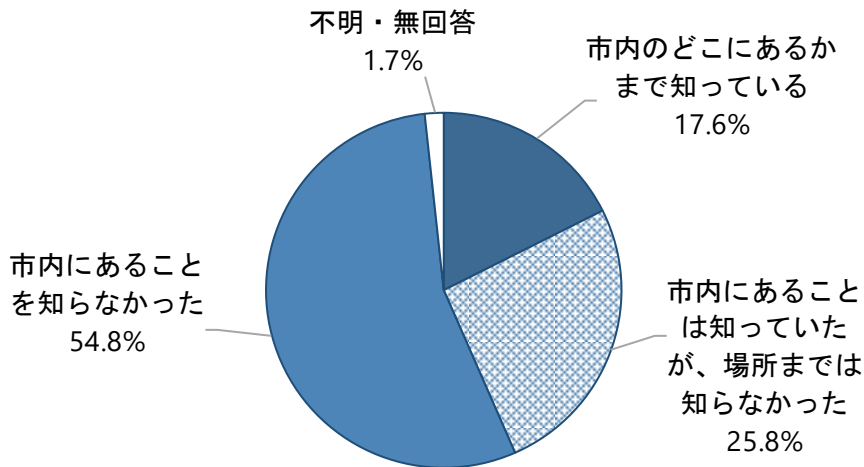


図 3.10.2 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 行政サービスの在り方と利用者負担について

(2) 消費生活センターについて

(2)-1 消費生活センター設置場所の認知度

問50. 消費生活センターが吹田市（JR吹田駅前「さんくす3番館」2階）にも設置されていることをご存じですか。（1つだけ○印）



(N=1,165)

図 3.10.3 消費生活センター設置場所の認知度

- 消費生活センター設置場所の認知度（図3.10.3）は、「市内にあることを知らなかった」が最も多く54.8%、次いで、「市内にあることは知っていたが、場所までは知らなかった」が25.8%、「市内のどこにあるかまで知っている」が17.6%となっている。
- 性別（図3.10.4）にみると、「市内にあることを知らなかった」では、女性（52.2%）より男性（58.3%）の方が6.1ポイント高くなっている。
- 年齢別にみると、「市内にあることを知らなかった」では、年齢が上がるとともに低くなり、70歳以上（39.0%）が最も低くなっている。
- 居住地域別にみると、「市内のどこにあるかまで知っている」では、JR以南地域（47.2%）が最も多く、千里ニュータウン・万博・阪大地域（7.5%）が最も低くなっている。
- 職業別にみると、「市内のどこにあるかまで知っている」では、派遣社員（33.3%）が最も多くなっている。
- 居住年数別にみると、「市内のどこにあるかまで知っている」では、概ね居住年数が長いほど高くなり、50年以上（35.2%）が最も多くなっている。

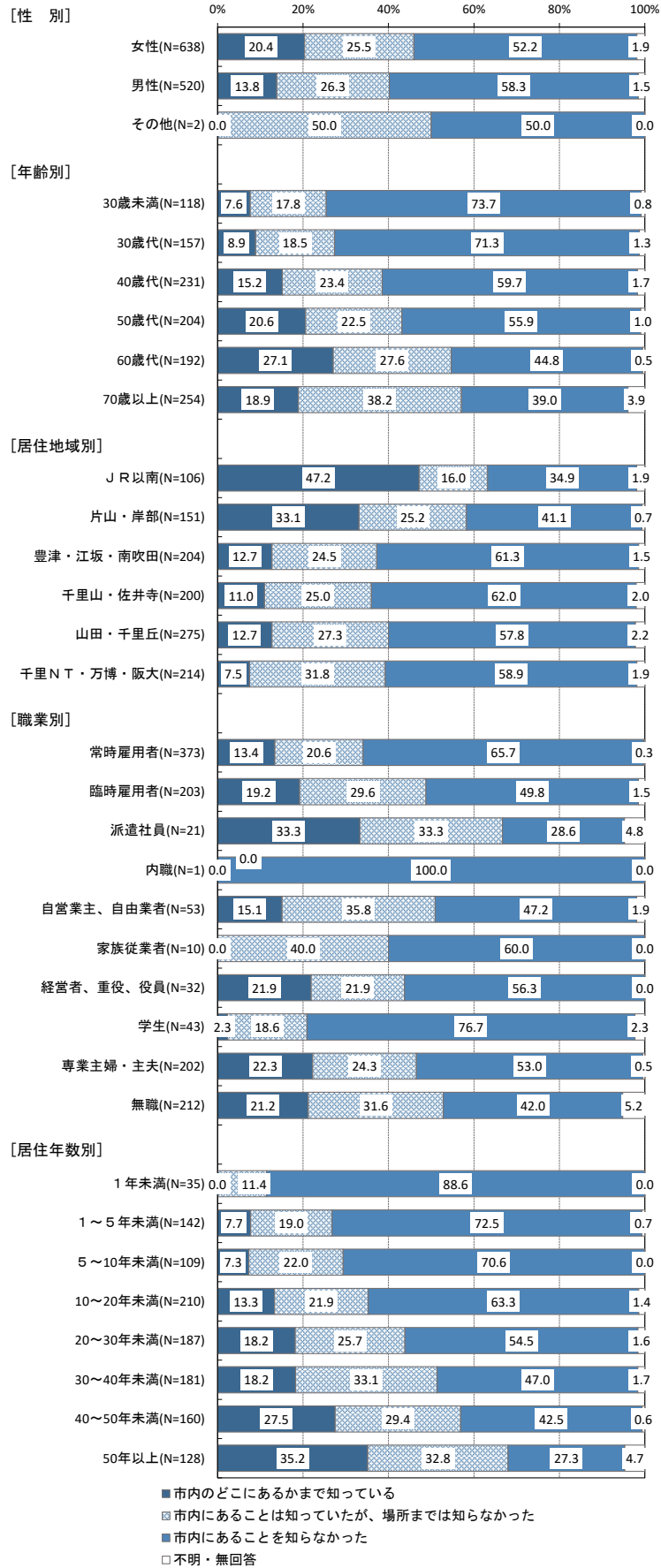
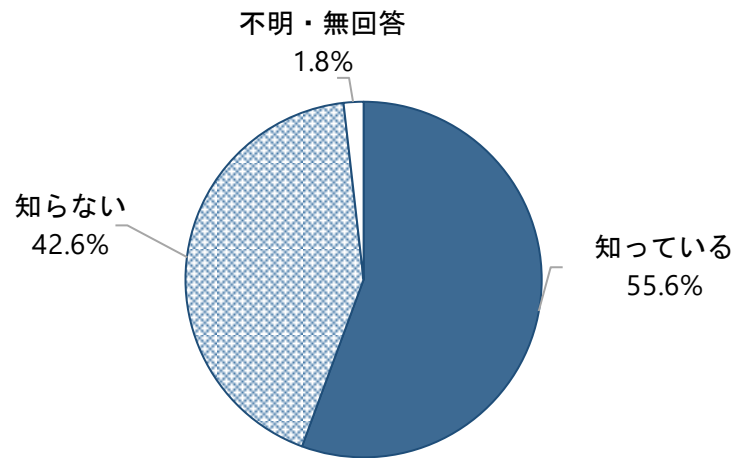


図 3.10.4 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 消費生活センター設置場所の認知度

(2)-2 消費生活センター業務内容の認知度

問51. 消費生活センターでは、商品の品質に対する疑問や苦情、悪質商法による契約トラブルなど、消費生活に関する様々な相談を受け付け、解決のためのアドバイスを行っています。あなたはこのことをご存じですか。(1つだけ○印)



(N=1,165)

図 3.10.5 消費生活センター業務内容の認知度

- 消費生活センター業務内容の認知度 (図3.10.5) は、「知っている」が55.6%、「知らない」が42.6%となっている。
- 性別 (図3.10.6) にみると、「知っている」では、男性 (51.0%) よりも女性 (59.4%) の方が8.4ポイント高くなっている。
- 年齢別にみると、「知っている」では、30歳未満 (41.5%) が最も低く、30歳代以上で5～6割台となっている。
- 居住地別にみると、「知っている」では、片山・岸部地域 (59.6%) が最も多く、次いで、千里ニュータウン・万博・阪大地域 (57.9%) となっている。
- 職業別にみると、「知っている」では、家族従業者 (80.0%) が最も多くなっている。一方、学生 (46.5%) が最も低くなっている。
- 居住年数別にみると、「知っている」では、50年以上 (66.4%) が最も多くなっている。一方、1～5年未満 (39.4%) が最も低くなっている。

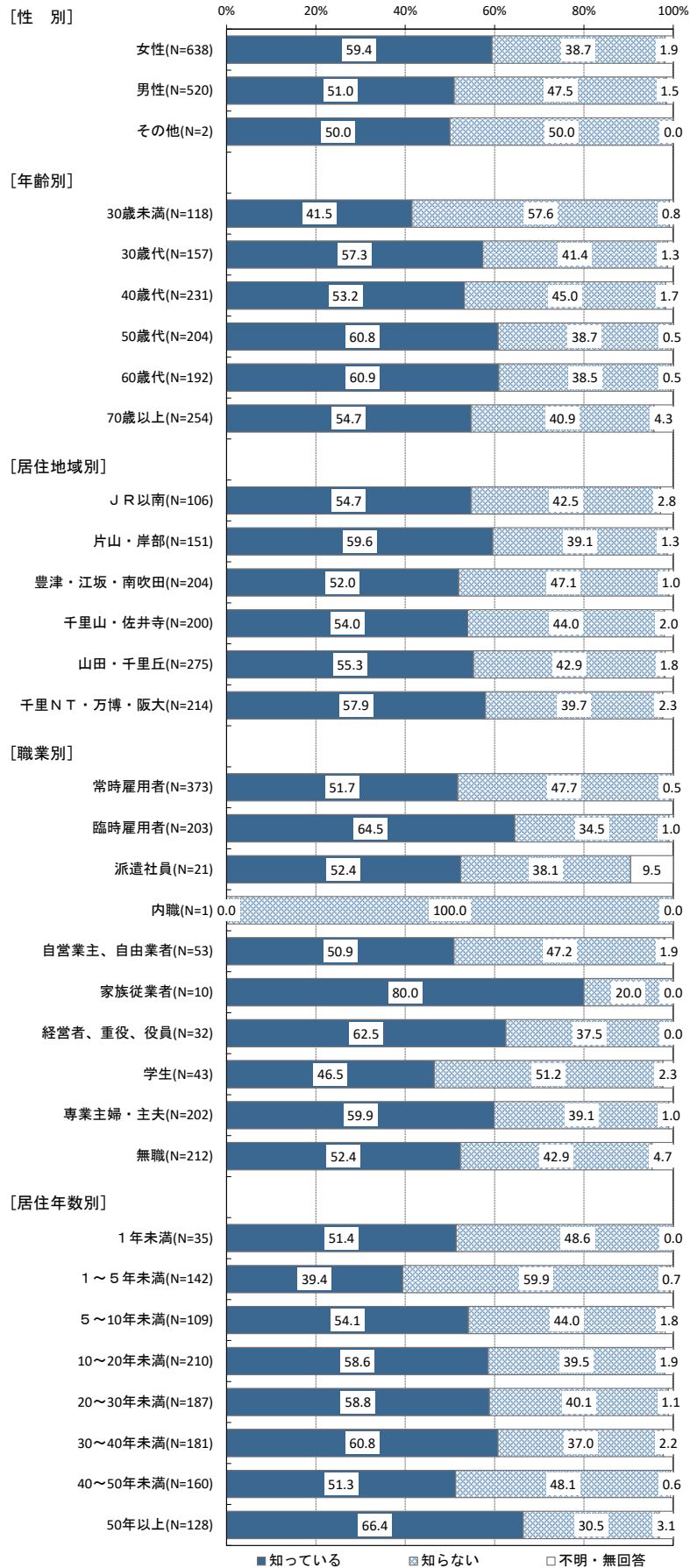
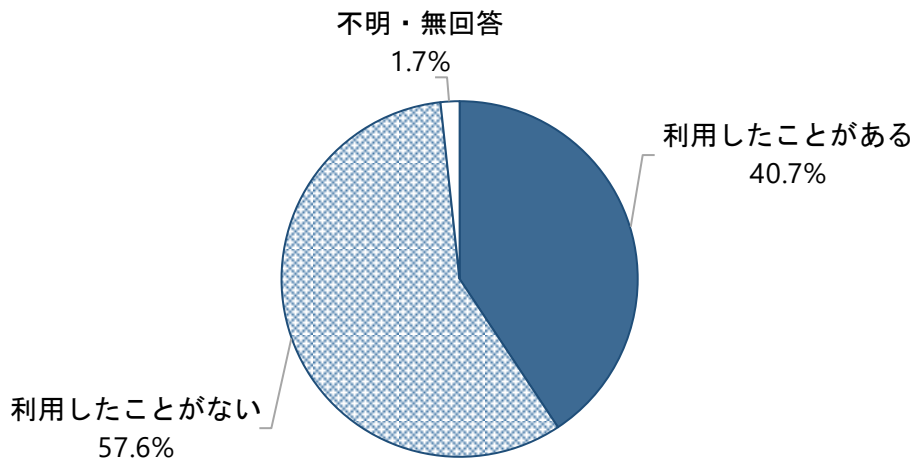


図 3.10.6 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 消費生活センター業務内容の認知度

(3) 地区公民館について

(3)-1 地区公民館の利用状況

問52. あなたは公民館を利用したことがありますか。(1つだけ○印)



(N=1,165)

図 3.10.7 地区公民館の利用状況

○地区公民館の利用状況(図3.10.7)は、「利用したことがない」が57.6%、「利用したことがある」が40.7%となっている。

○性別(図3.10.8)にみると、「利用したことがある」では、男性(34.0%)より女性(46.2%)の方が12.2ポイント高くなっている。

○年齢別にみると、「利用したことがある」では、40歳代(45.9%)が最も多くなっている。一方、30歳代(28.7%)が最も低くなっている。

○居住地域別にみると、「利用したことがある」では、山田・千里丘地域(52.0%)が最も多くなっている。一方、豊津・江坂・南吹田地域(32.8%)が最も低くなっている。

○職業別にみると、「利用したことがある」では、派遣社員(52.4%)が最も多くなっている。一方、経営者、重役、役員(28.1%)が最も低くなっている。

○居住年数別にみると、「利用したことがある」では、概ね居住年数が長いほど割合が高くなり、50年以上(50.0%)が最も多くなっている。

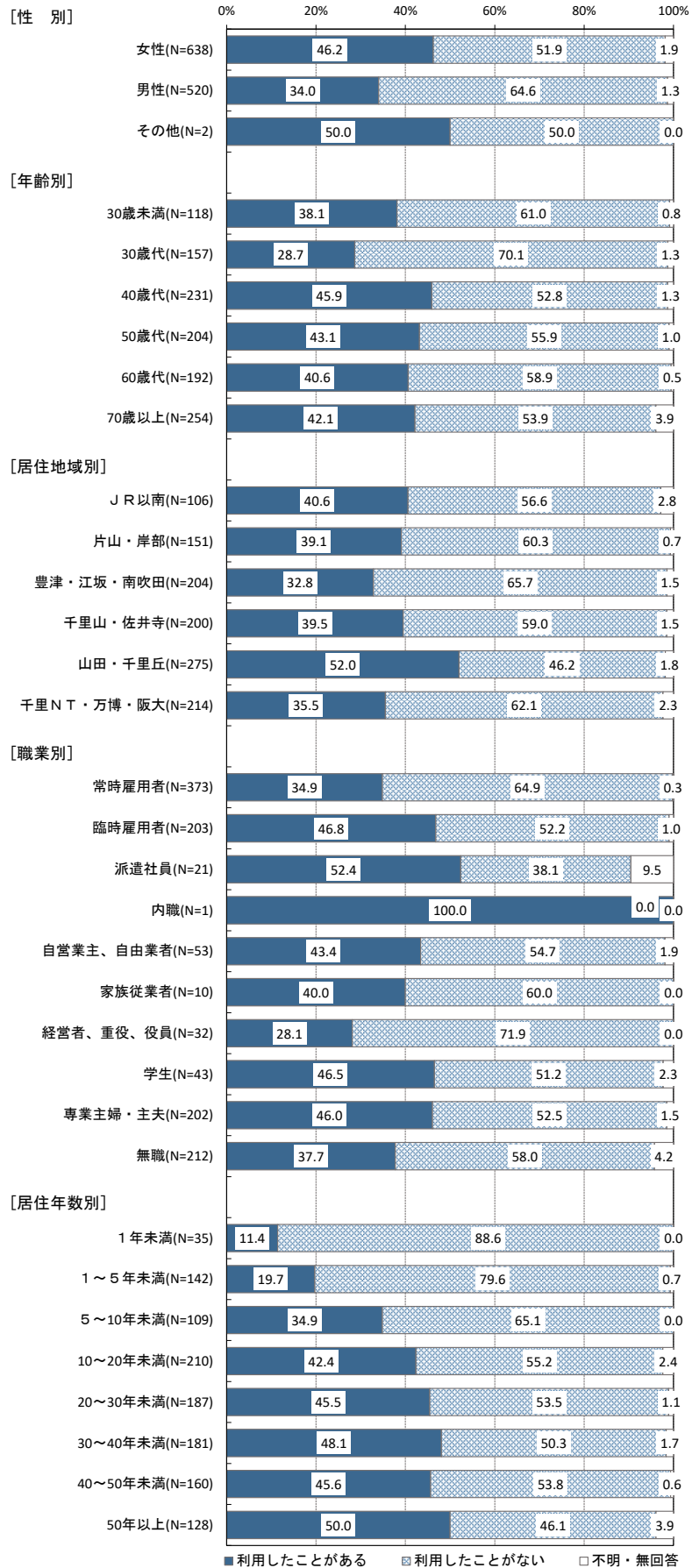
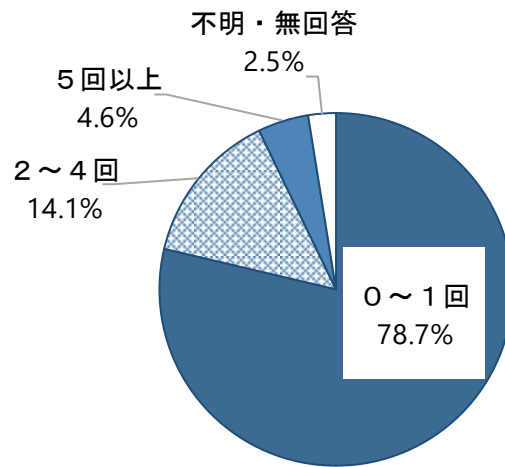


図 3.10.8 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 地区公民館の利用状況

(3)-2 地区公民館の利用頻度

※問52で「利用したことがある」と回答した人のみ
副問 1ヵ月あたりどの程度利用されていますか。(1つだけ○印)



(N=474) (副問)

図 3.10.9 地区公民館の利用頻度

○1ヵ月あたりの地区公民館の利用頻度(図3.10.9)は、「0～1回」が最も多く78.7%、次いで、「2～4回」が14.1%、「5回以上」が4.6%となっている。

○性別(図3.10.10)にみると、2回以上では、男性(17.0%)より女性(20.0%)の割合が3.0ポイント高くなっている。

○年齢別にみると、2回以上では、70歳以上(37.4%)が最も多くなっている。一方、30歳代(8.8%)が最も低くなっている。

○居住地域別にみると、2回以上では、JR以南地域(25.6%)が最も多くなっている。一方、千里山・佐井寺地域(16.5%)が最も低くなっている。

○職業別にみると、2回以上では、無職(36.3%)が最も多くなっている。一方、学生(5.0%)が最も低くなっている。

○居住年数別にみると、2回以上では、40～50年未満(28.7%)が最も多くなっている。一方、1～5年未満(3.6%)が最も低くなっている。

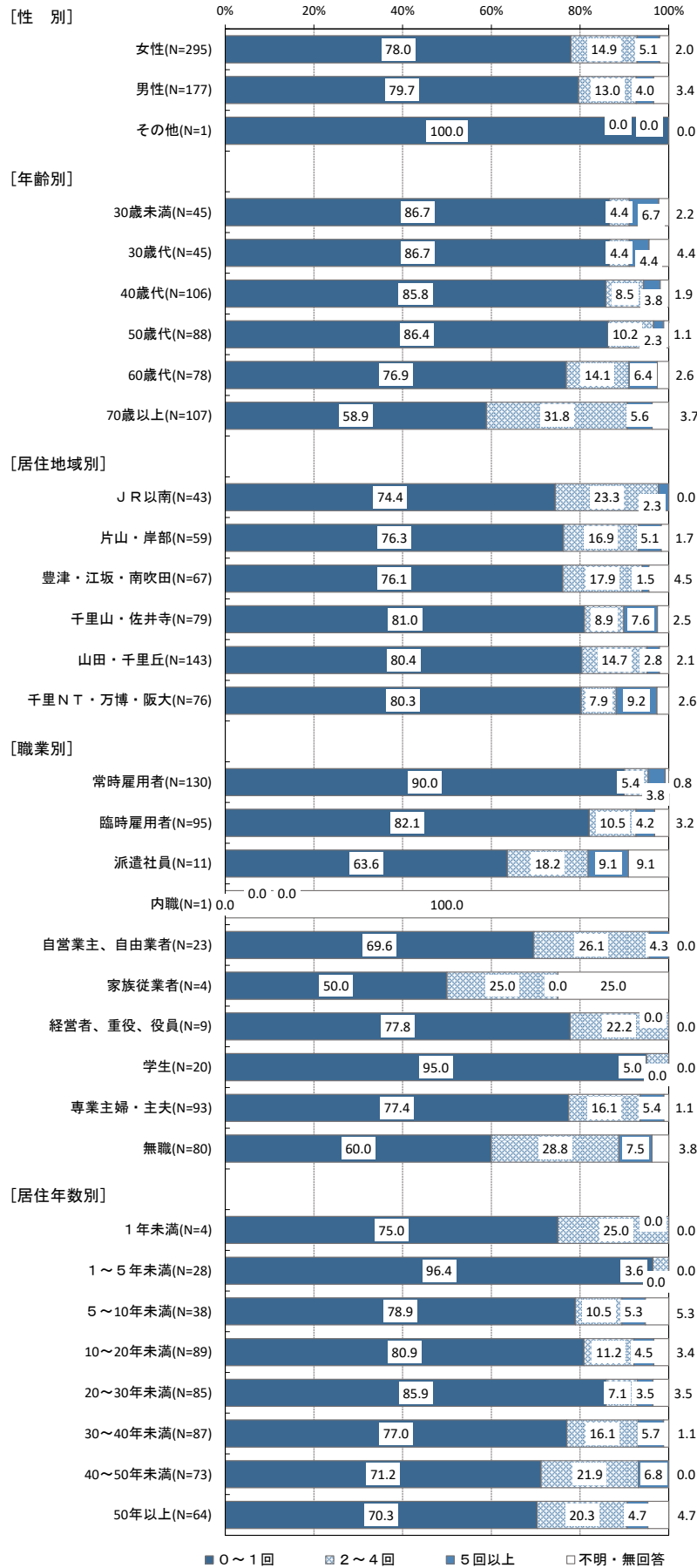


図 3.10.10 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 地区公民館の利用頻度

(4) 吹田市交通災害・火災等共済制度等について

(4)-1 加入状況

問53. あなたの世帯は、吹田市交通災害共済または火災等共済に加入していますか。それぞれについてお答えください。(それぞれ1つだけ○印)

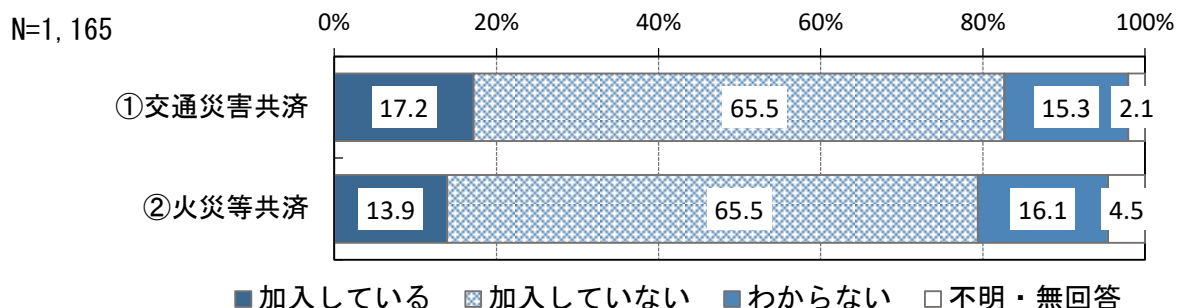


図 3.10.11 交通災害共済・火災等共済の加入状況

○交通災害共済・火災等共済の加入状況（図3.10.11）は、《①交通災害共済》では、「加入している」が17.2%、《②火災等共済》では、「加入している」が13.9%となっている。

○性別（図3.10.12、図3.10.13）にみると、「加入している」では、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも男性より女性の割合が高くなっている。

○年齢別にみると、「加入している」では、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも30歳代以上で年齢が上がるとともに割合が高くなり、70歳以上が最も多くなっている。

○居住地域別にみると、「加入している」では、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれもJR以南地域が最も多く、千里山・佐井寺地域が最も低くなっている。

○職業別にみると、「加入している」では、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも自営業主、自由業者が最も多くなっている。

○居住年数別にみると、「加入している」では、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも概ね居住年数が長いほど高くなり、50年以上が最も多くなっている。

①交通災害共済

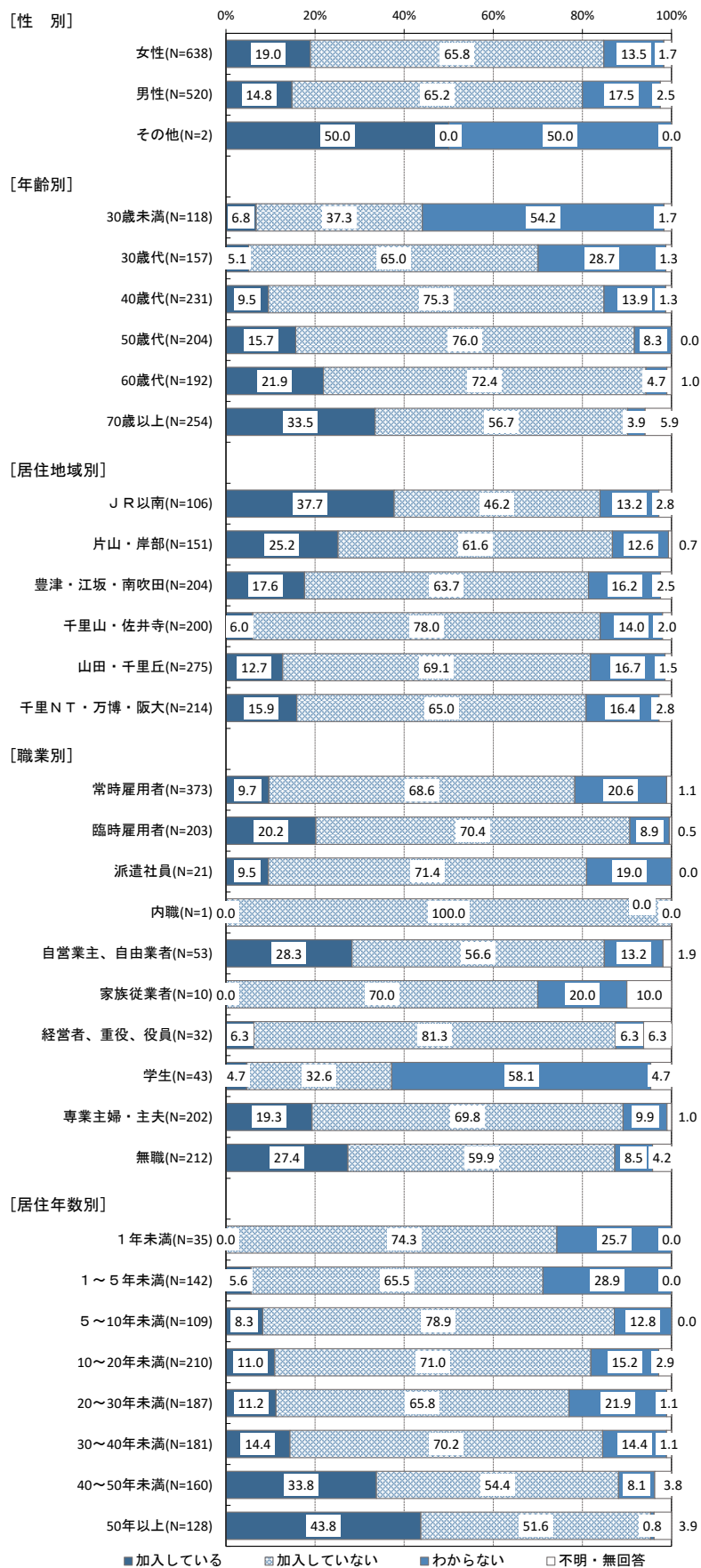


図 3.10.12 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 交通災害共済の加入状況

②火災等共済

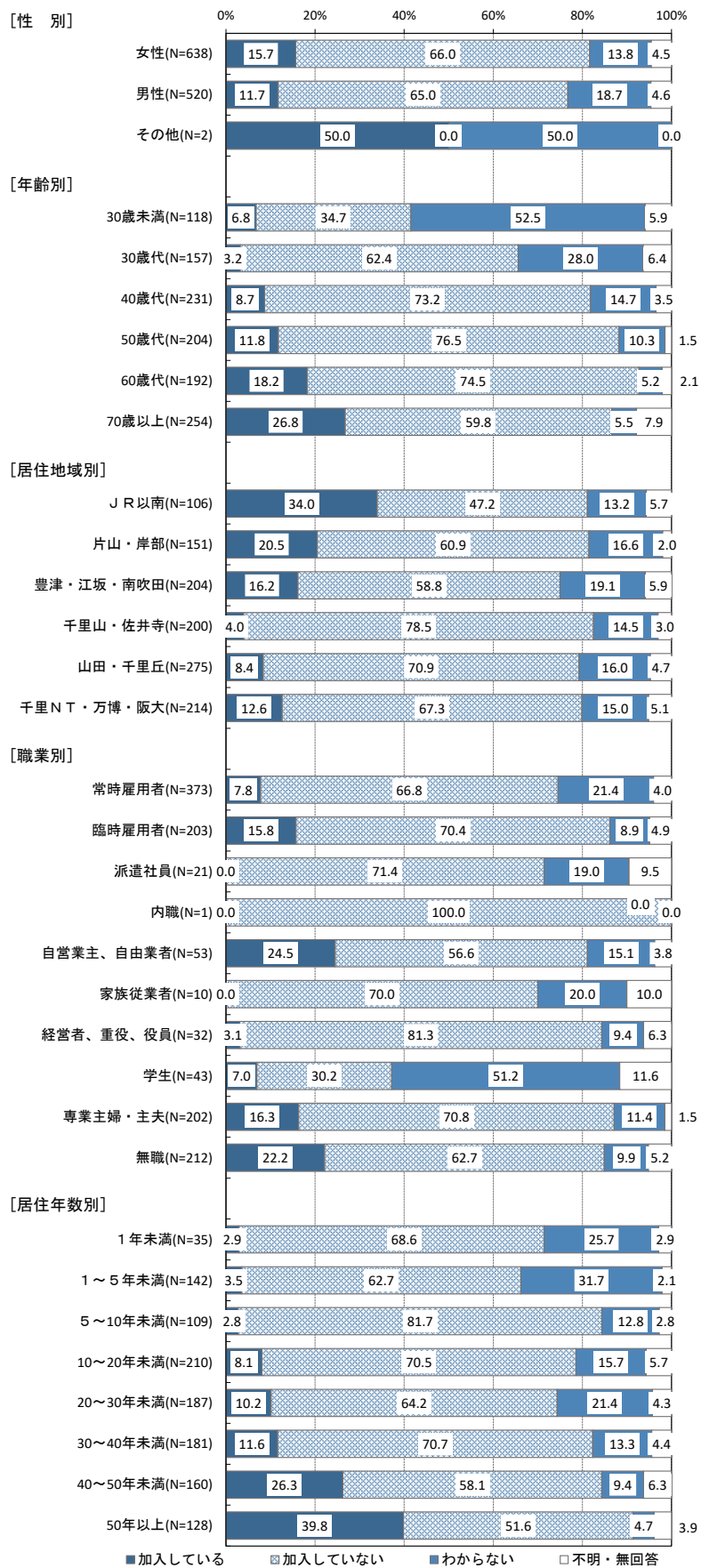
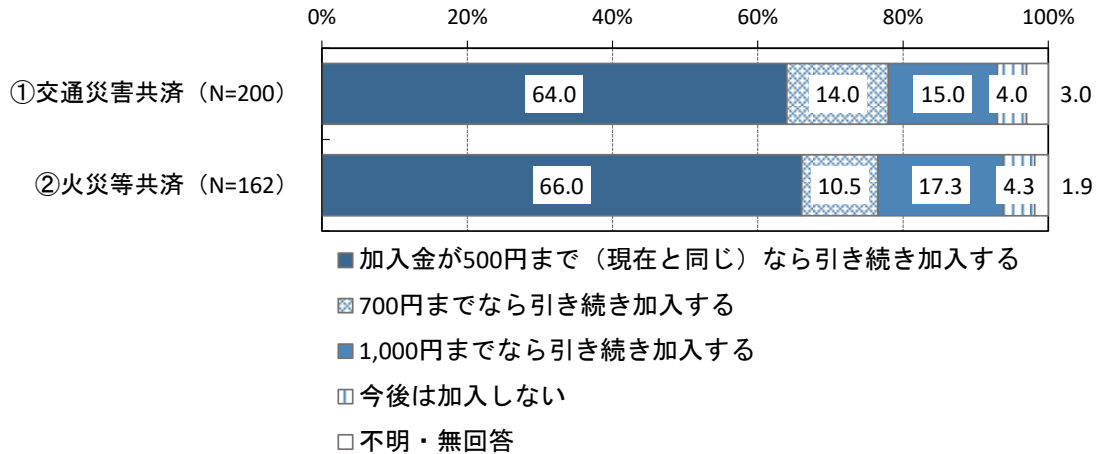


図 3.10.13 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 火災等共済の加入状況

(4)-2 値上げした場合の加入意向

※問53で「加入している」と回答した人のみ

副問1 交通災害共済または火災等共済が今後、見舞金の給付額を変更せず加入金を値上げした場合、引き続き加入されますか。(1つだけ○印)



※火災等共済の選択肢は「加入金が1口500円まで（現在と同じ）なら引き続き加入する」

図3.10.14 交通災害共済・火災等共済の値上げした場合の加入意向

○交通災害共済・火災等共済の値上げした場合の加入意向（図3.10.14）は、《①交通災害共済》では、「加入金が500円まで（現在と同じ）なら引き続き加入する」が最も多く64.0%、《②火災等共済》では、「加入金が1口500円まで（現在と同じ）なら引き続き加入する」が最も多く66.0%となっている。

○性別（図3.10.15、図3.10.16）にみると、《①交通災害共済》は、「加入金が500円まで（現在と同じ）なら引き続き加入する」では、男性（53.2%）より女性（71.1%）の割合が高くなっている。また、《②火災等共済》においても、「加入金が1口500円まで（現在と同じ）なら引き続き加入する」では、男性（59.0%）より女性（70.0%）の割合が高くなっている。

○年齢別にみると、「1,000円までなら引き続き加入する」では、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも60歳代が最も高くなっている。

○居住地域別にみると、《①交通災害共済》は、「1,000円までなら引き続き加入する」では、豊津・江坂・南吹田地域（19.4%）が最も多くなっている。また、《②火災等共済》は、「1,000円までなら引き続き加入する」では、山田・千里丘地域（21.7%）が最も多くなっている。

①交通災害共済

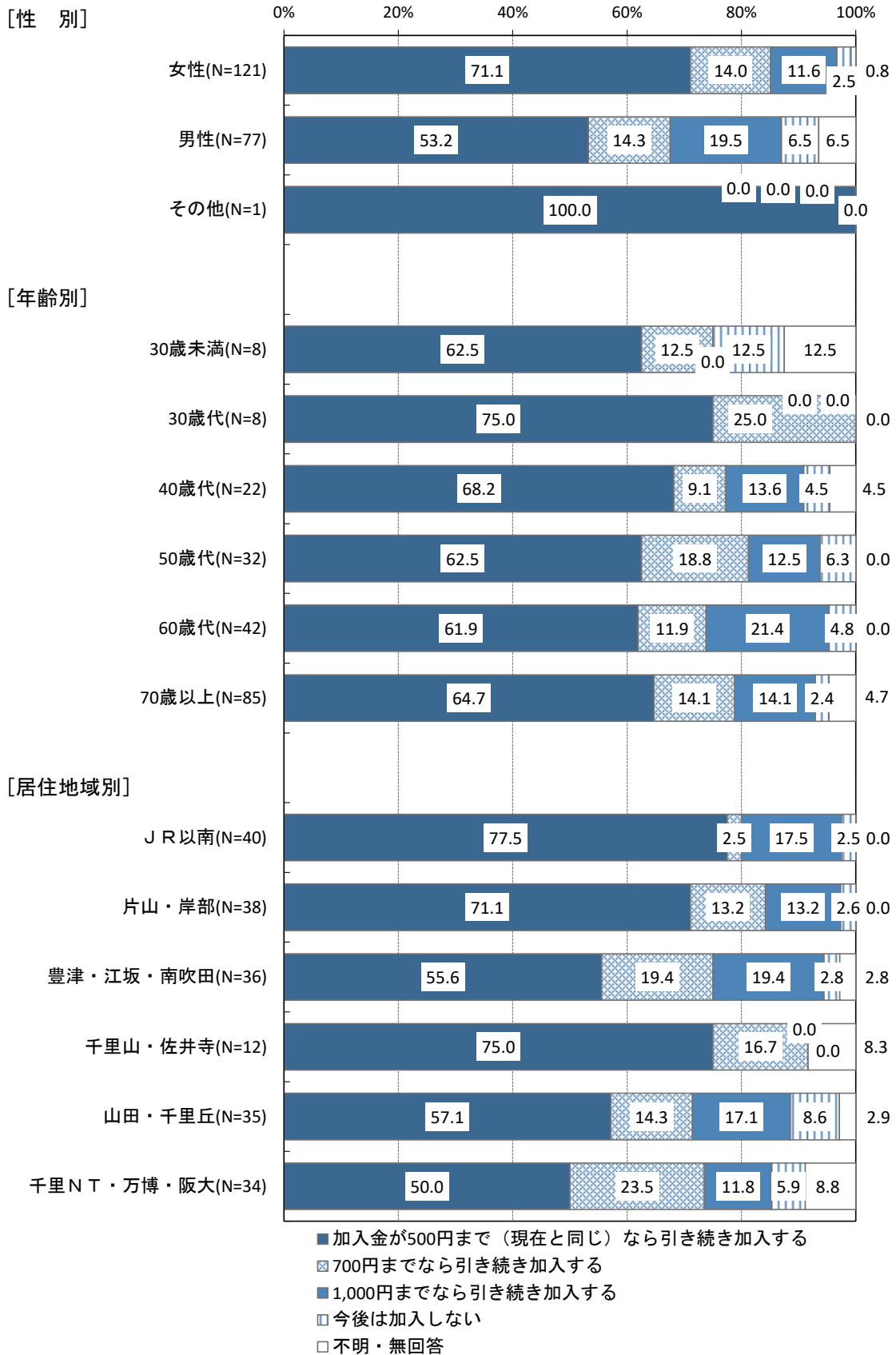


図 3.10.15 性別・年齢別・居住地域別 交通災害共済の値上げした場合の加入意向

②火災等共済

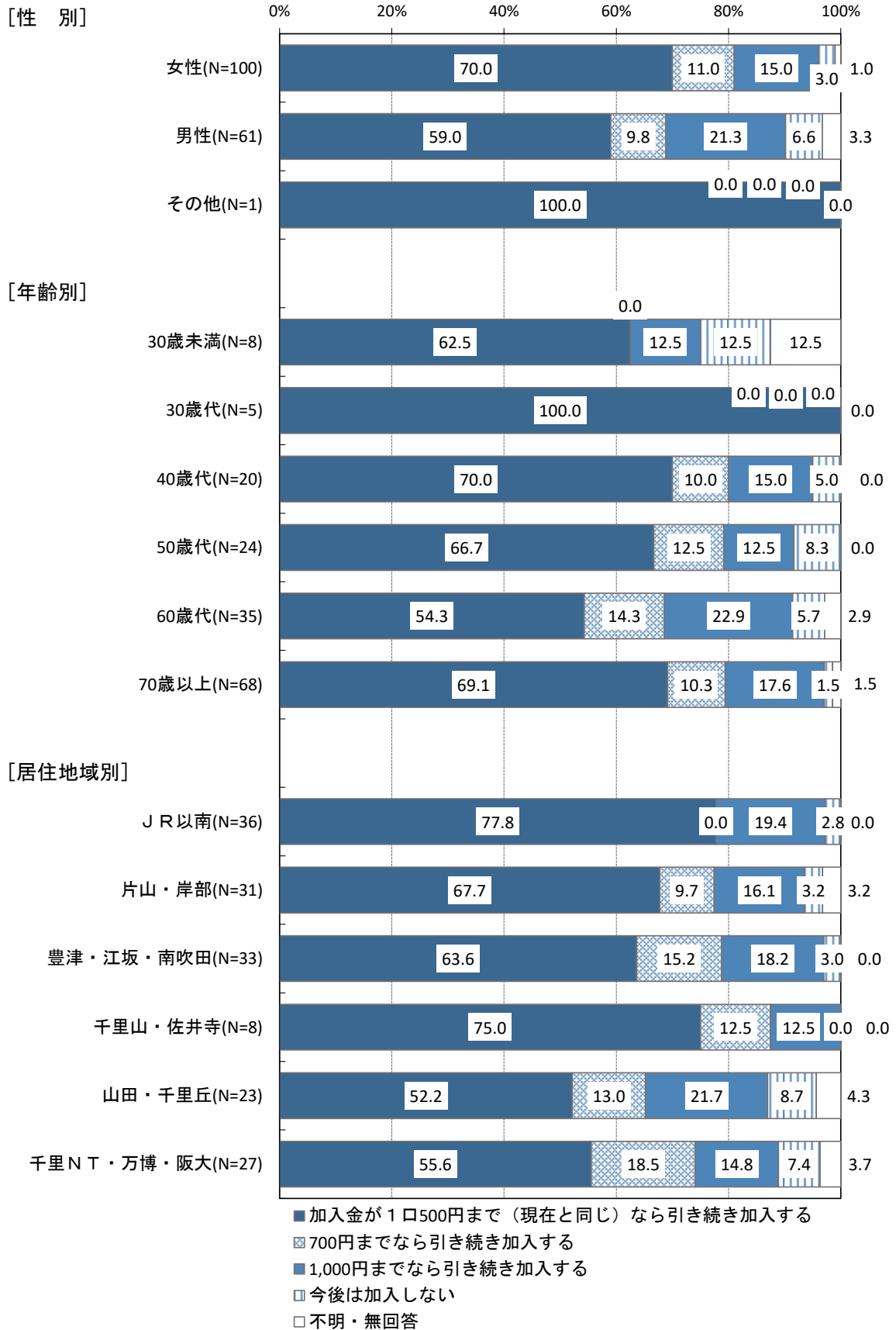


図 3.10.16 性別・年齢別・居住地域別 火災等共済の値上げした場合の加入意向

(4)-3 加入しない理由

※問53で「加入していない」と回答した人のみ

副問2 加入しない理由は何ですか。(あてはまるものにもいくつでも○印)

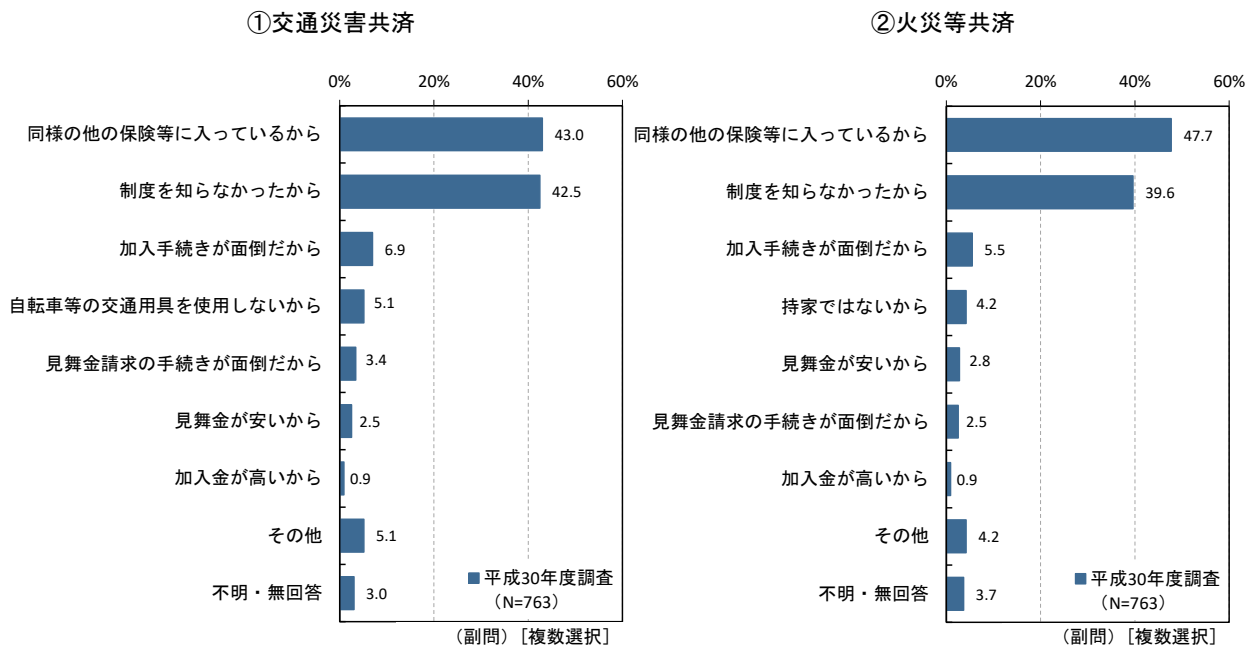


図 3.10.17 交通災害共済・火災等共済に加入しない理由

- 交通災害共済・火災等共済に加入しない理由(図3.10.17)は、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも「同様の他の保険等に入っているから」が最も多く、次いで、「制度を知らなかったから」となっている。
- 性別(表3.10.1、表3.10.2)にみると、《①交通災害共済》は、女性では「同様の他の保険等に入っているから」が最も多く、男性では「制度を知らなかったから」が最も多くなっている。また、《②火災等共済》は、女性・男性ともに「同様の他の保険等に入っているから」が最も多くなっている。
- 年齢別にみると、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも30歳未満から40歳代では「制度を知らなかったから」が最も多く、50歳代以上では「同様の他の保険等に入っているから」が最も多くなっている。
- 居住地域別にみると、「同様の他の保険等に入っているから」では、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも、JR以南地域が最も多くなっている。
- 職業別にみると、「制度を知らなかったから」では、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも、経営者、重役、役員が最も多くなっている。
- 居住年数別にみると、「制度を知らなかったから」では、《①交通災害共済》、《②火災等共済》いずれも概ね居住年数が短いほど高くなり、1年未満が最も多くなっている。

表 3.10.1 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 交通災害共済に加入しない理由

(MA 単位：%)

		N (人)	入 同 様 の 他 の 保 険 等 に	制 度 を 知 ら な か つ た か ら	加 入 手 続 き が 面 倒 だ か ら	自 転 車 等 の 交 通 用 具 を 使 用 し な い か ら	見 舞 金 請 求 の 手 続 き が 面 倒 だ か ら	見 舞 金 が 安 い か ら	加 入 金 が 高 い か ら	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全 体		763	43.0	42.5	6.9	5.1	3.4	2.5	0.9	5.1	3.0
性別	女性	420	42.4	40.0	7.4	5.7	3.3	1.9	0.5	6.4	2.6
	男性	339	43.4	46.0	6.2	4.4	3.5	3.2	1.5	3.5	3.5
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不明・無回答	4	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	30歳未満	44	27.3	59.1	4.5	4.5	2.3	2.3	2.3	4.5	0.0
	30歳代	102	34.3	65.7	6.9	2.0	2.0	1.0	1.0	5.9	1.0
	40歳代	174	40.8	51.7	4.6	4.0	2.3	3.4	0.6	2.3	2.3
	50歳代	155	49.7	42.6	5.2	3.2	4.5	2.6	1.3	4.5	1.3
	60歳代	139	48.9	30.9	10.8	5.8	4.3	1.4	0.7	5.8	2.2
	70歳以上	144	43.8	21.5	8.3	10.4	4.2	3.5	0.7	8.3	8.3
	不明・無回答	5	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
居住地域別	J R以南	49	63.3	28.6	6.1	4.1	4.1	4.1	2.0	12.2	0.0
	片山・岸部	93	51.6	36.6	6.5	2.2	3.2	2.2	4.3	5.4	3.2
	豊津・江坂・南吹田	130	41.5	44.6	7.7	6.2	1.5	2.3	0.0	6.2	1.5
	千里山・佐井寺	156	38.5	49.4	6.4	2.6	1.9	2.6	1.3	4.5	1.9
	山田・千里丘	190	44.2	44.2	5.8	6.3	4.2	0.5	0.0	3.2	3.2
	千里NT・万博・阪大	139	35.3	40.3	7.9	7.9	5.8	5.0	0.0	5.0	5.8
	不明・無回答	6	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
職業別	常時雇用者	256	39.1	55.9	5.1	3.1	2.3	2.0	1.2	3.1	2.3
	臨時雇用者	143	49.0	40.6	6.3	2.1	4.2	1.4	0.0	4.9	1.4
	派遣社員	15	20.0	46.7	26.7	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
	内職	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業主、自由業者	30	46.7	40.0	6.7	0.0	3.3	3.3	0.0	3.3	3.3
	家族従業者	7	42.9	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	経営者、重役、役員	26	34.6	61.5	3.8	3.8	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0
	学生	14	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	141	40.4	35.5	6.4	8.5	2.1	2.1	0.7	8.5	5.0
	無職	127	49.6	22.0	10.2	10.2	5.5	5.5	2.4	7.1	5.5
不明・無回答	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
居住年数別	1年未満	26	7.7	88.5	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	3.8
	1～5年未満	93	23.7	67.7	3.2	5.4	1.1	0.0	1.1	2.2	3.2
	5～10年未満	86	43.0	58.1	3.5	3.5	0.0	1.2	0.0	3.5	0.0
	10～20年未満	149	40.3	45.0	6.0	2.7	3.4	1.3	0.7	5.4	2.7
	20～30年未満	123	46.3	46.3	4.1	7.3	2.4	2.4	0.0	4.1	0.8
	30～40年未満	127	52.8	22.8	11.8	7.1	4.7	3.1	0.8	4.7	5.5
	40～50年未満	87	54.0	23.0	12.6	6.9	4.6	5.7	2.3	5.7	3.4
	50年以上	66	53.0	19.7	9.1	4.5	6.1	4.5	3.0	13.6	6.1
	不明・無回答	6	16.7	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0

※網掛け■は最も多いもの

表 3.10.2 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 火災等共済に加入しない理由

(MA 単位：%)

		N (人)	同様の他の保険等に入っていないから	制度を知らなかったから	加入手続きが面倒だから	持家ではないから	見舞金が安いから	見舞金請求の手続きが面倒だから	加入金が高いから	その他	不明・無回答
全体		763	47.7	39.6	5.5	4.2	2.8	2.5	0.9	4.2	3.7
性別	女性	421	49.2	36.1	5.7	3.8	2.1	2.9	0.7	5.0	3.8
	男性	338	45.6	44.4	5.3	4.7	3.3	2.1	1.2	3.3	3.6
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不明・無回答	4	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	30歳未満	41	31.7	53.7	4.9	9.8	2.4	2.4	0.0	4.9	2.4
	30歳代	98	36.7	60.2	6.1	5.1	1.0	1.0	1.0	5.1	1.0
	40歳代	169	43.8	51.5	3.6	4.1	3.6	1.2	1.8	0.6	3.0
	50歳代	156	55.8	41.0	3.8	3.8	1.9	2.6	0.6	2.6	1.3
	60歳代	143	52.4	30.1	8.4	3.5	2.8	4.2	0.7	5.6	1.4
	70歳以上	152	50.0	17.8	6.6	2.6	3.9	3.3	0.7	7.9	11.2
	不明・無回答	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地域別	J R以南	50	60.0	26.0	6.0	4.0	2.0	2.0	0.0	12.0	0.0
	片山・岸部	92	52.2	35.9	4.3	7.6	2.2	1.1	3.3	3.3	4.3
	豊津・江坂・南吹田	120	51.7	41.7	5.8	4.2	2.5	0.0	0.0	4.2	2.5
	千里山・佐井寺	157	41.4	47.8	5.1	3.2	3.2	1.3	1.3	3.8	1.3
	山田・千里丘	195	53.3	37.9	4.6	1.0	1.5	4.1	0.5	3.1	4.6
	千里NT・万博・阪大	144	36.1	38.9	7.6	6.9	4.9	4.9	0.7	4.2	6.9
	不明・無回答	5	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職業別	常時雇用者	249	42.2	54.2	4.4	5.2	1.6	1.6	0.8	2.4	2.0
	臨時雇用者	143	59.4	36.4	3.5	3.5	1.4	2.1	0.0	2.8	1.4
	派遣社員	15	20.0	40.0	26.7	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0
	内職	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業主、自由業者	30	53.3	36.7	6.7	3.3	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0
	家族従業者	7	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	経営者、重役、役員	26	30.8	57.7	3.8	3.8	3.8	3.8	0.0	3.8	3.8
	学生	13	53.8	46.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専業主婦・主夫	143	46.2	32.2	5.6	3.5	3.5	2.1	1.4	7.0	5.6
	無職	133	49.6	21.1	8.3	4.5	5.3	5.3	1.5	6.8	9.0
不明・無回答	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
居住年数別	1年未満	24	16.7	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
	1～5年未満	89	24.7	65.2	3.4	5.6	0.0	0.0	0.0	3.4	2.2
	5～10年未満	89	44.9	52.8	1.1	6.7	2.2	1.1	1.1	2.2	1.1
	10～20年未満	148	45.9	41.2	4.1	3.4	2.0	2.7	0.7	4.1	4.1
	20～30年未満	120	52.5	44.2	4.2	1.7	4.2	2.5	0.0	2.5	1.7
	30～40年未満	128	56.3	22.7	8.6	4.7	3.9	3.9	0.8	3.9	5.5
	40～50年未満	93	58.1	21.5	12.9	6.5	3.2	3.2	3.2	4.3	5.4
	50年以上	66	56.1	18.2	6.1	3.0	3.0	3.0	1.5	12.1	7.6
	不明・無回答	6	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

※網掛け■は最も多いもの

(4)-4 交通災害・火災等共済基金の今後について

問54. この制度は加入金収入によって運営されていますが、近年は、加入者の減少により財政状況が厳しくなり、吹田市交通災害・火災等共済基金を取り崩して運営を続けています。今後について、どうすべきと考えますか。(1つだけ○印)

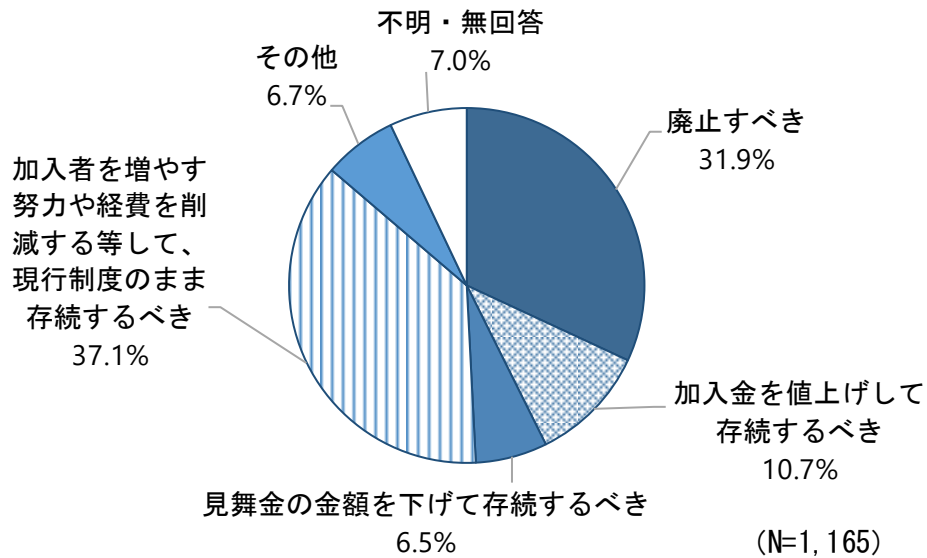


図 3.10.18 交通災害・火災等共済基金の今後について

- 交通災害・火災等共済基金の今後について(図3.10.18)は、「加入者を増やす努力や経費を削減する等して、現行制度のまま存続すべき」が最も多く37.1%、次いで、「廃止すべき」が31.9%、「加入金を値上げして存続すべき」が10.7%となっている。
- 性別(図3.10.19)にみると、女性では「加入者を増やす努力や経費を削減する等して、現行制度のまま存続すべき」(40.9%)が最も多く、男性では「廃止すべき」(35.0%)が最も多くなっている。
- 年齢別にみると、「加入者を増やす努力や経費を削減する等して、現行制度のまま存続すべき」では30歳未満(48.3%)が最も多く、「廃止すべき」では30歳代(40.8%)が最も多くなっている。
- 居住地域別にみると、「加入者を増やす努力や経費を削減する等して、現行制度のまま存続すべき」ではJR以南地域(43.4%)が最も多く、「廃止すべき」では山田・千里丘地域(36.0%)が最も多くなっている。
- 職業別にみると、「加入者を増やす努力や経費を削減する等して、現行制度のまま存続すべき」では学生(53.5%)が最も多く、「廃止すべき」では経営者、重役、役員(56.3%)が最も多くなっている。
- 居住年数別にみると、「加入者を増やす努力や経費を削減する等して、現行制度のまま存続すべき」では1～5年未満(40.1%)が最も多く、「廃止すべき」では10～20年未満(40.0%)が最も多くなっている。

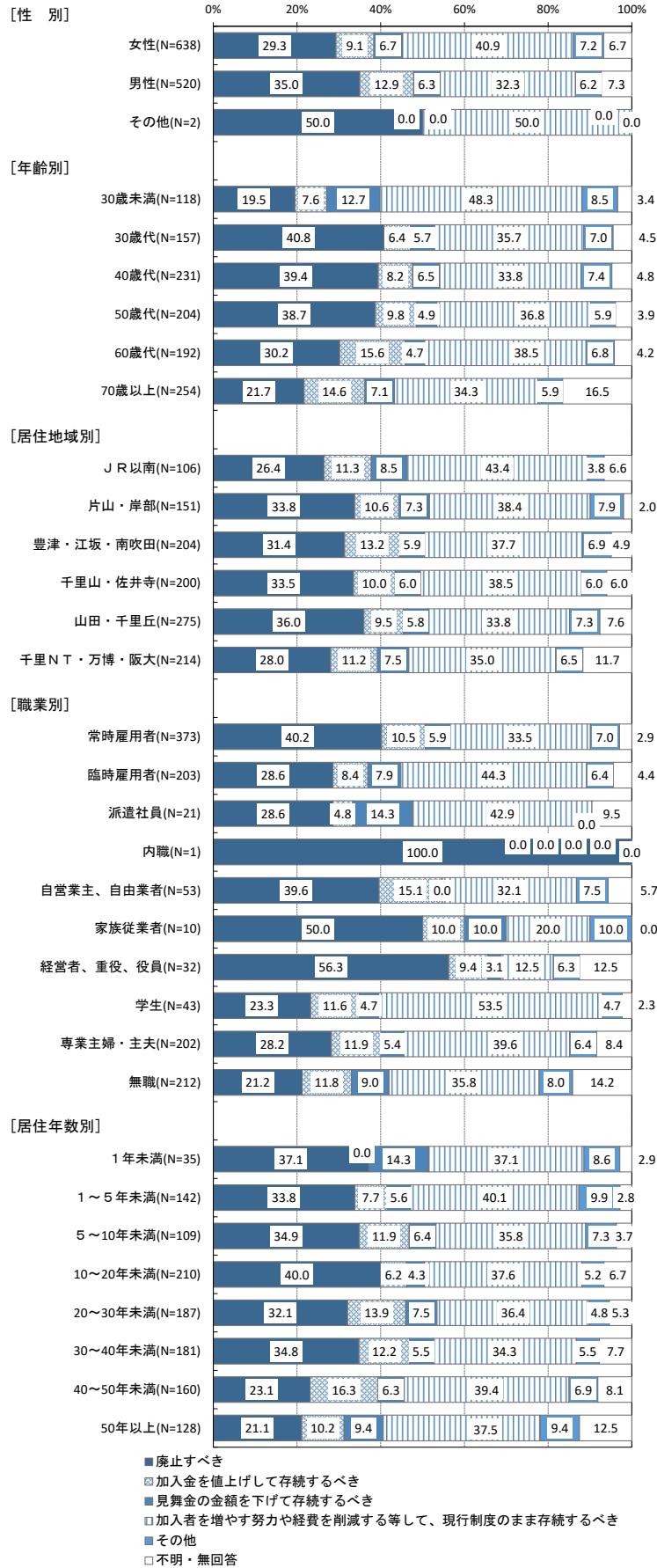


図 3. 10. 19 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 交通災害・火災等共済基金の今後について

(4)-5 交通災害共済・火災等共済以外の加入状況

問55. 本共済以外の類似（同趣旨）の他共済や民間の保険に加入していますか。
（それぞれに1つだけ○印）

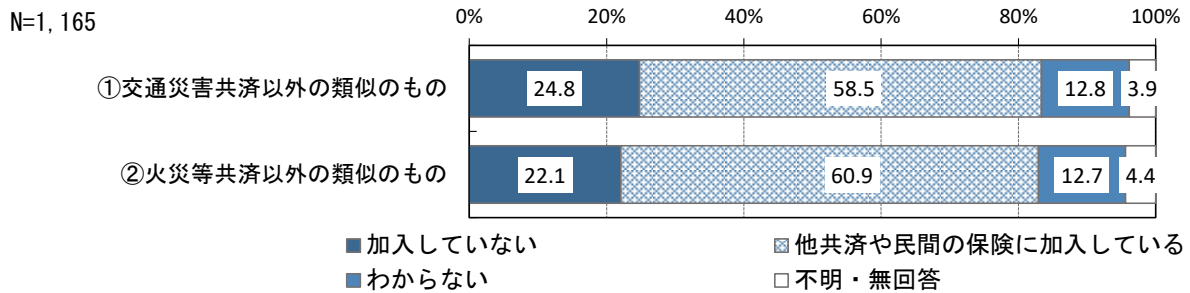


図 3.10.20 交通災害共済・火災等共済以外の加入状況

- 交通災害共済・火災等共済以外の加入状況（図3.10.20）は、《①交通災害共済以外の類似のもの》、《②火災等共済以外の類似のもの》いずれも「他共済や民間の保険に加入している」が最も多く6割前後となっている。
- 性別（図3.10.21、図3.10.22）にみると、「加入していない」では、《①交通災害共済以外の類似のもの》、《②火災等共済以外の類似のもの》いずれも男性よりも女性の割合が高くなっている。
- 年齢別にみると、「加入していない」では、《①交通災害共済以外の類似のもの》、《②火災等共済以外の類似のもの》いずれも70歳以上が最も多くなっている。
- 居住地域別にみると、「他共済や民間の保険に加入している」では、《①交通災害共済以外の類似のもの》は千里山・佐井寺地域（65.0%）が最も多く、《②火災等共済以外の類似のもの》は山田・千里丘地域（69.1%）が最も多くなっている。
- 職業別にみると、「他共済や民間の保険に加入している」では、《①交通災害共済以外の類似のもの》、《②火災等共済以外の類似のもの》いずれも経営者、重役、役員が最も多くなっている。
- 居住年数別にみると、「他共済や民間の保険に加入している」では、《①交通災害共済以外の類似のもの》、《②火災等共済以外の類似のもの》いずれも5～10年未満が最も多くなっている。

①交通災害共済以外の類似のもの

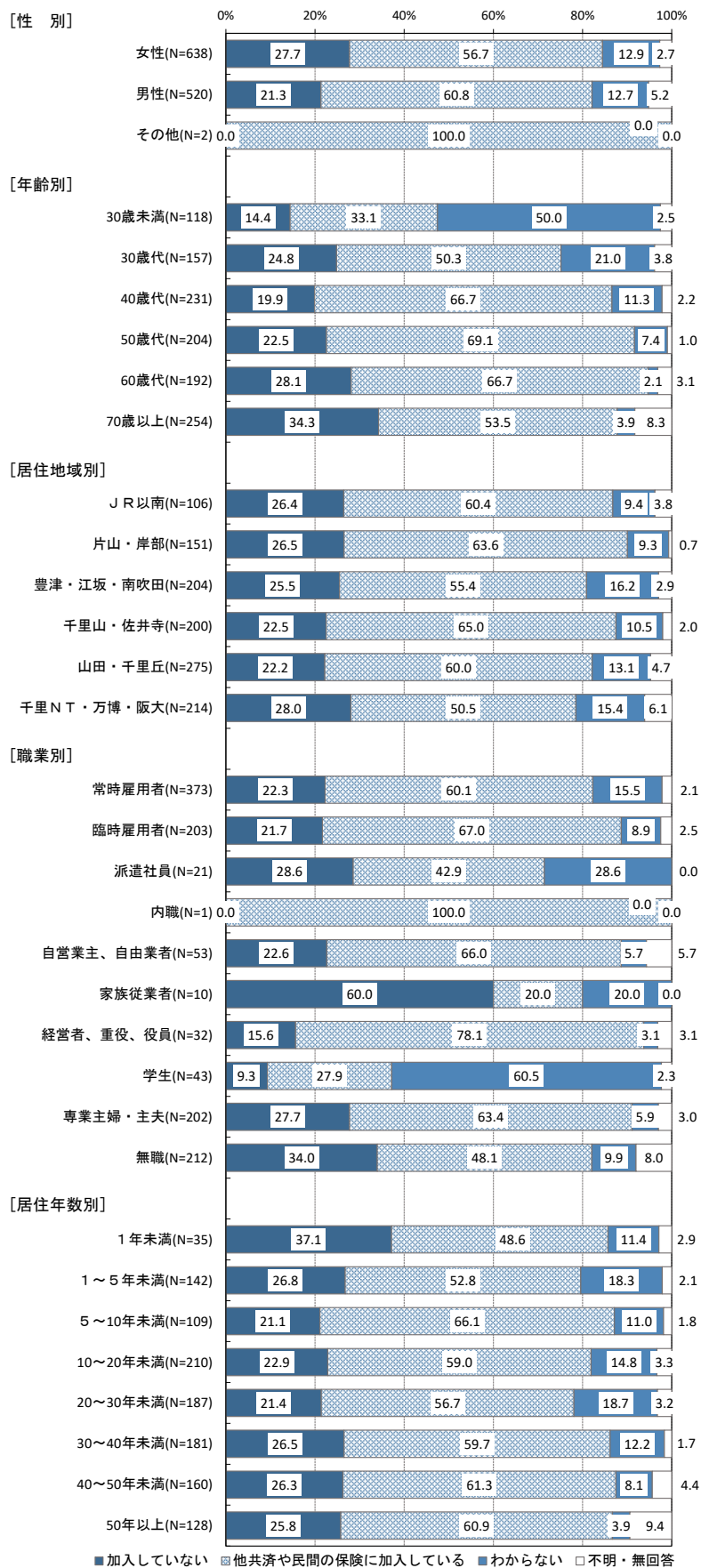


図 3.10.21 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 交通災害共済以外の加入状況

②火災等共済以外の類似のもの

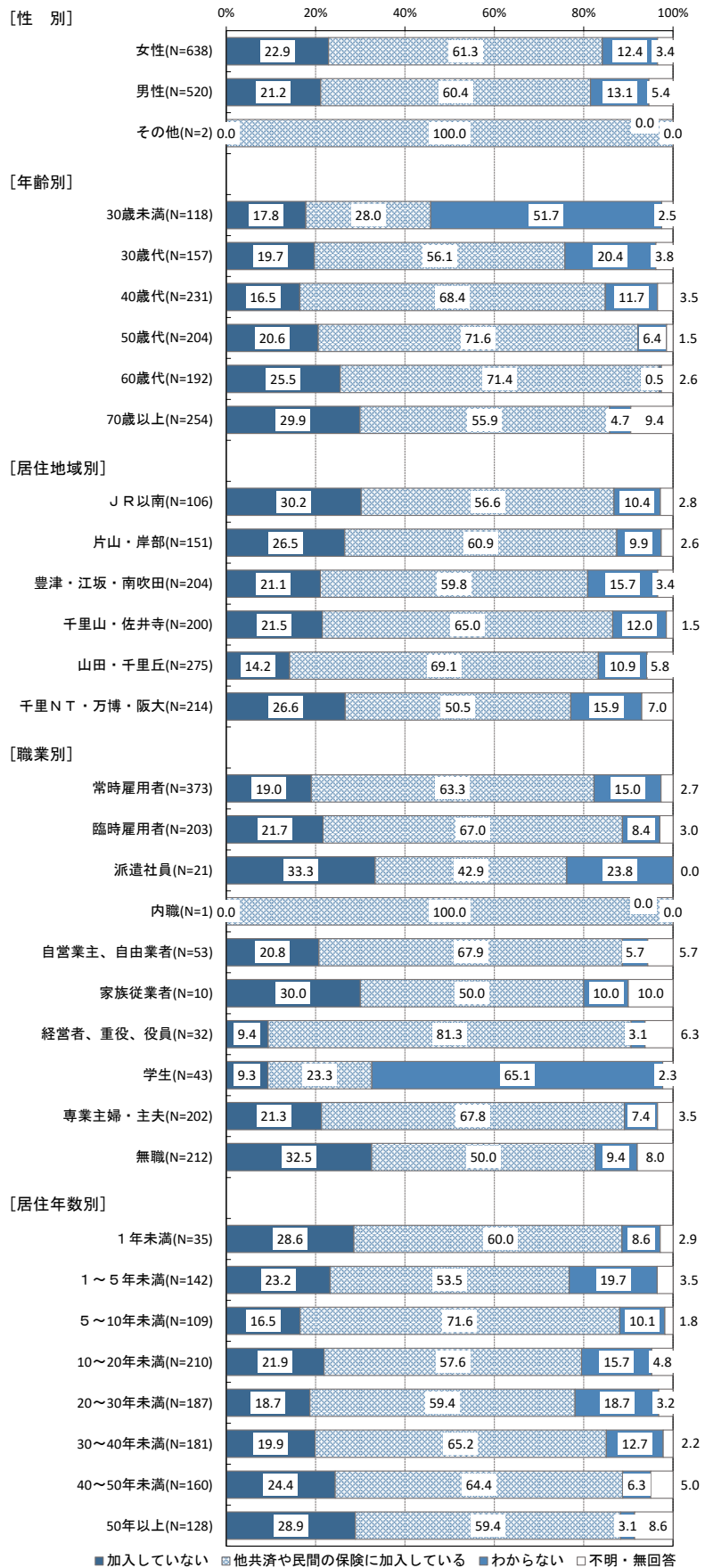


図 3.10.22 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別 火災等共済以外の加入状況

(4)-6 自転車保険の加入状況

問56. 大阪府では自転車保険（加害者賠償責任保険）の加入が平成28年7月から義務付けられました。自転車保険に加入していますか。（1つだけ○印）

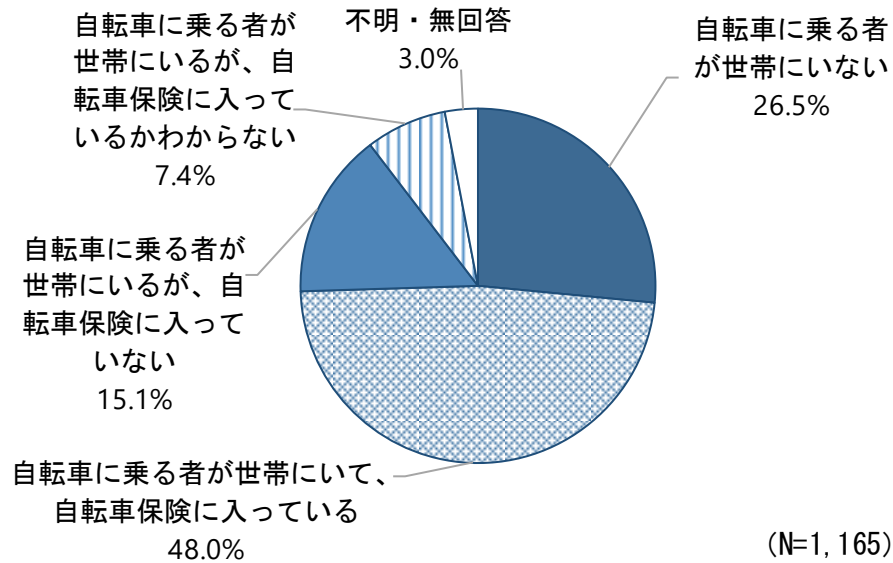


図 3.10.23 自転車保険の加入状況

- 自転車保険の加入状況（図3.10.23）は、「自転車に乗る者が世帯にいて、自転車保険に入っている」が最も多く48.0%、次いで、「自転車に乗る者が世帯にいない」が26.5%、「自転車に乗る者が世帯にいるが、自転車保険に入っていない」が15.1%となっている。
- 性別（図3.10.24）にみると、女性・男性ともに「自転車に乗る者が世帯にいて、自転車保険に入っている」が最も多く、いずれも5割弱となっている。
- 年齢別にみると、「自転車に乗る者が世帯にいて、自転車保険に入っている」では、40歳代（64.1%）が最も多く、次いで、50歳代（53.9%）、30歳代（49.7%）となっている。
- 居住地域別にみると、「自転車に乗る者が世帯にいて、自転車保険に入っている」では、片山・岸部地域（63.6%）が最も多くなっている。一方、「自転車に乗る者が世帯にいるが、自転車保険に入っていない」では、JR以南地域（26.4%）が最も多くなっている。
- 職業別にみると、「自転車に乗る者が世帯にいて、自転車保険に入っている」では、臨時雇用者（57.6%）が最も多くなっている。

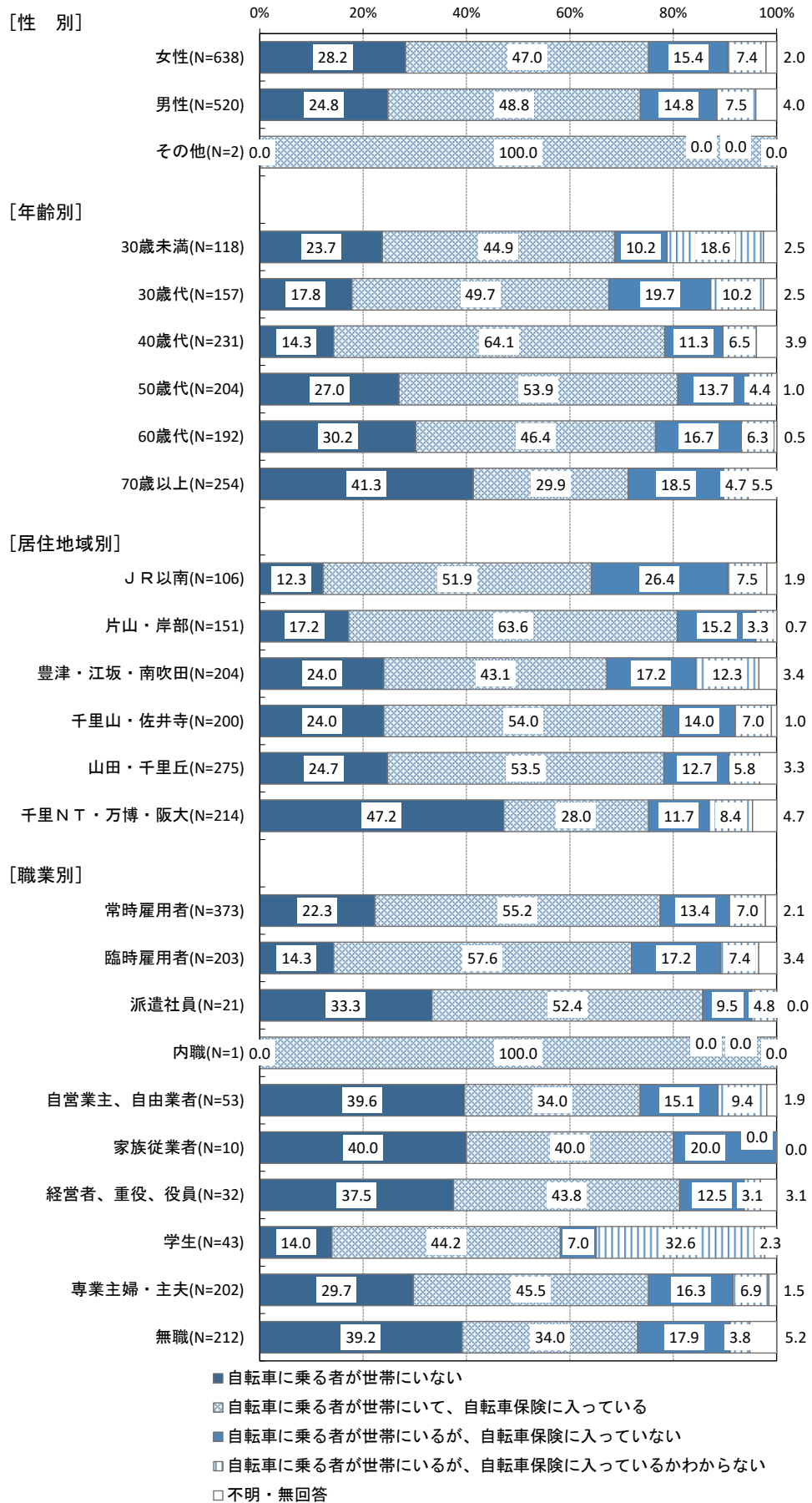
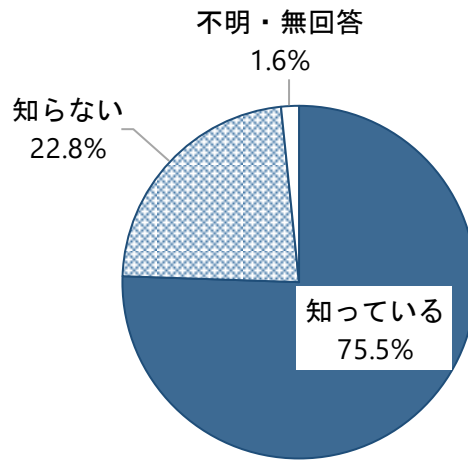


図 3.10.24 性別・年齢別・居住地域別・職業別 自転車保険の加入状況

(5) すいたんについて

(5)-1 すいたんの認知度

問57. 吹田市イメージキャラクターすいたんを知っていますか。(1つだけ○印)



(N=1,165)

図 3.10.25 すいたんの認知度

- すいたんの認知度（図3.10.25）は、「知っている」が75.5%、「知らない」が22.8%となっている。
- 性別（図3.10.26）にみると、「知っている」では、男性（66.9%）より女性（82.8%）の方が割合が高くなっている。
- 年齢別にみると、「知っている」では、30歳代（85.4%）が最も多く、30歳代以上では年齢が上がるとともに割合が低くなり、70歳以上（61.0%）が最も低くなっている。
- 居住地域別にみると、「知っている」では、千里山・佐井寺地域（80.0%）が最も多くなっている。
- 職業別にみると、「知っている」では、臨時雇用者、派遣社員（いずれも85.7%）が最も多くなっている。

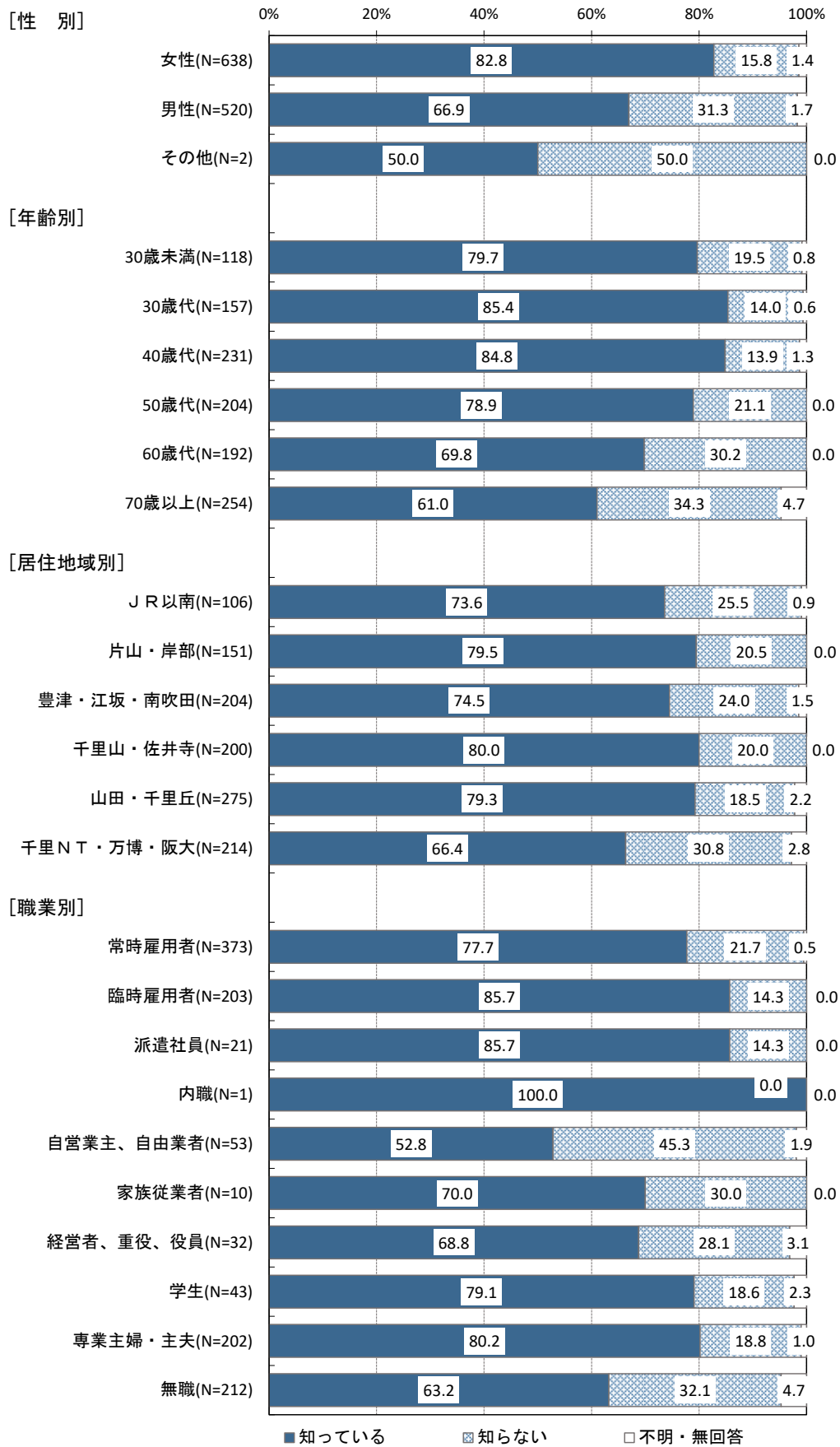


図 3.10.26 性別・年齢別・居住地域別・職業別 すいたんの認知度

(5)-2 すいたんの印象

※問57で「知っている」と回答した人のみ
副問 すいたんをどのように感じていますか。(1つだけ○印)

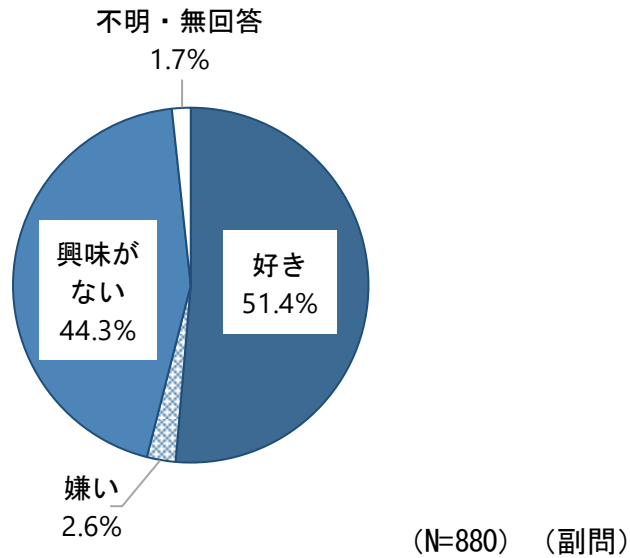


図 3.10.27 すいたんの印象

- すいたんの印象 (図3.10.27) は、「好き」が最も多く51.4%、次いで、「興味がない」が44.3%となっている。
- 性別 (図3.10.28) にみると、女性では「好き」(56.1%)が最も多く、男性では「興味がない」(50.6%)が最も多くなっている。
- 年齢別にみると、「好き」では、30歳代(57.5%)が最も多くなっている。一方、「興味がない」では、60歳代(55.2%)が最も多くなっている。
- 居住地域別にみると、「好き」では、片山・岸部地域(60.0%)が最も多くなっている。一方、「興味がない」では、千里ニュータウン・万博・阪大(50.7%)が最も多くなっている。
- 職業別にみると、「好き」では、自営業主、自由業者(60.7%)が最も多くなっている。一方、「興味がない」では、経営者、重役、役員(68.2%)が最も多くなっている。

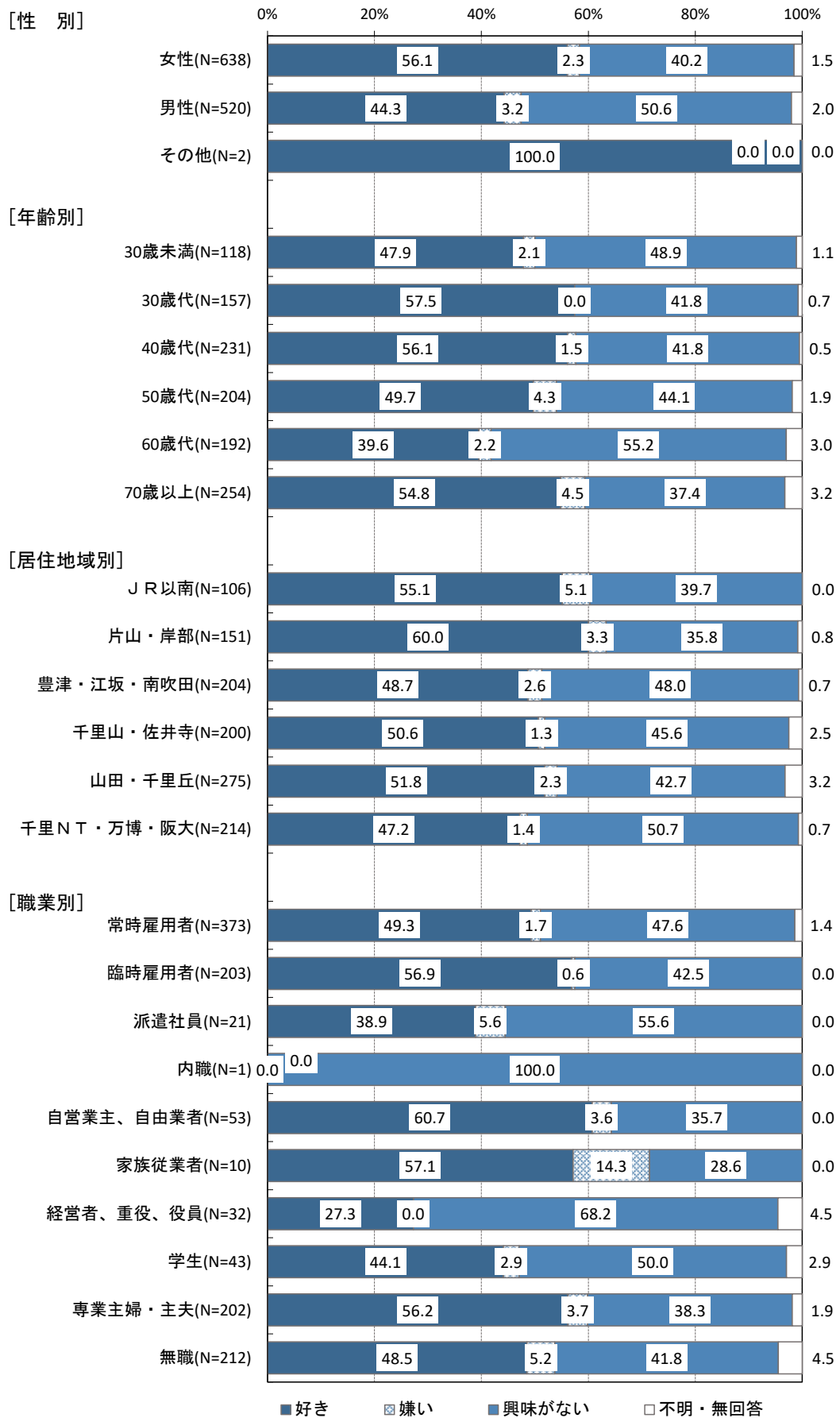


図 3.10.28 性別・年齢別・居住地域別・職業別 すいたんの印象

(6) 吹田まつりに求めること

問58. 「吹田まつり」は昭和45年（1970年）に始まった様々な団体が参画し、実行委員会形式で開催される市民まつりです。あなたが、「吹田まつり」に求めることは何ですか。（いくつでも○印）

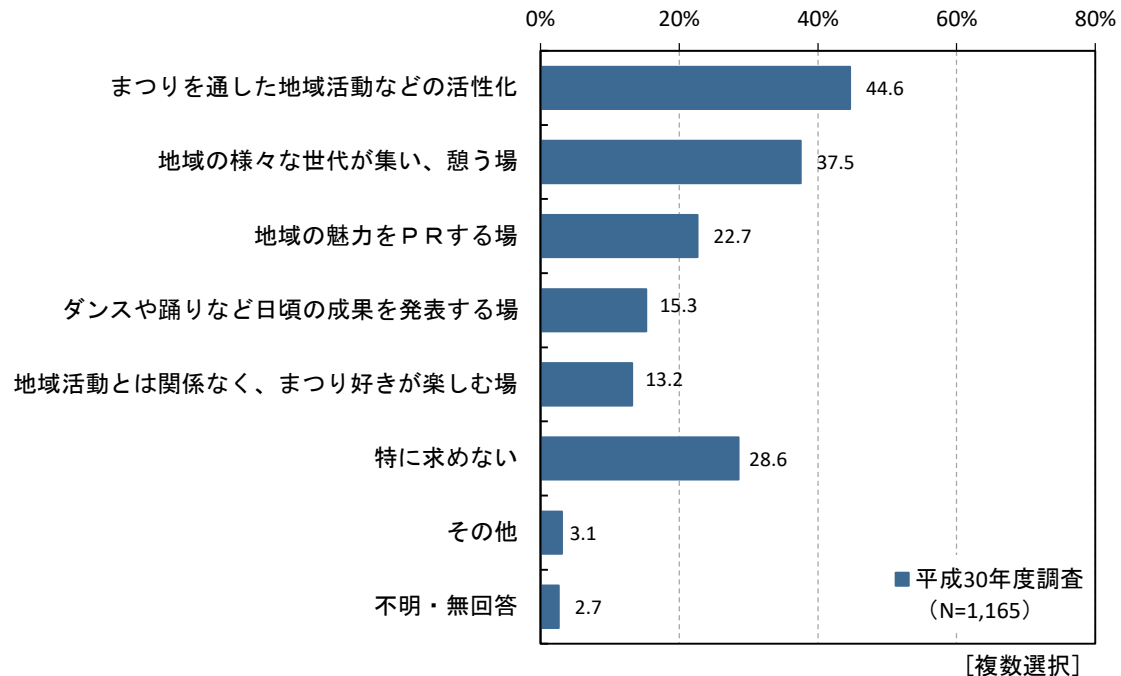


図 3.10.29 吹田まつりに求めること

○吹田まつりに求めること（図3.10.29）は、「まつりを通した地域活動などの活性化」が最も多く44.6%、次いで、「地域の様々な世代が集い、憩う場」が37.5%、「地域の魅力をPRする場」が22.7%となっている。

○性別（表3.10.3）にみると、女性・男性ともに「まつりを通した地域活動などの活性化」が最も多くなっており、その割合は男性（42.1%）よりも女性（46.9%）の方が4.8ポイント高くなっている。

○年齢別にみると、全ての年齢層で「まつりを通した地域活動などの活性化」が最も多くなっている。一方、「特に求めない」では、30歳未満（32.2%）が最も多くなっている。

○居住地域別にみると、全地域で「まつりを通した地域活動などの活性化」が最も多く、次いで、「地域の様々な世代が集い、憩う場」となっている。

○職業別にみると、「まつりを通した地域活動などの活性化」では、家族従業者（70.0%）が最も多く、次いで、経営者、重役、役員（56.3%）となっている。

表 3.10.3 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別・定住意向別 吹田まつりに求めること

(MA 単位：%)

		N (人)	ま 地 域 活 動 な ど の 活 性 化	憩 地 域 の 様 々 な 世 代 が 集 い 、 場	地 域 の 魅 力 を P R す る 場	成 ダ ン ス や 踊 り な ど 日 頃 の 果 を 発 表 す る 場	ま 地 域 活 動 と は 関 係 な く 、 好 き が 楽 し む 場	特 に 求 め な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全 体		1,165	44.6	37.5	22.7	15.3	13.2	28.6	3.1	2.7
性別	女性	638	46.9	40.8	21.9	17.1	12.7	25.4	3.6	2.2
	男性	520	42.1	33.5	23.5	13.1	13.7	32.7	2.5	3.1
	その他	2	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	不明・無回答	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
年齢別	30歳未満	118	37.3	30.5	16.1	17.8	12.7	32.2	5.1	0.8
	30歳代	157	45.9	35.0	21.0	13.4	21.0	29.3	3.8	0.6
	40歳代	231	51.1	41.1	22.5	14.7	16.0	25.1	4.3	2.2
	50歳代	204	45.1	39.7	24.0	20.1	10.3	27.0	2.9	0.5
	60歳代	192	45.3	35.9	21.9	18.2	12.5	30.2	2.1	1.0
	70歳以上	254	41.7	38.6	26.0	10.2	9.4	29.9	1.2	7.5
	不明・無回答	9	11.1	33.3	33.3	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2
居住地域別	J R以南	106	41.5	36.8	27.4	17.9	13.2	29.2	1.9	2.8
	片山・岸部	151	43.7	36.4	21.9	14.6	17.2	29.8	4.6	0.7
	豊津・江坂・南吹田	204	47.5	38.7	24.0	16.2	16.7	24.0	1.5	2.9
	千里山・佐井寺	200	50.0	36.5	25.5	14.5	12.0	28.5	1.5	1.0
	山田・千里丘	275	42.5	39.3	19.6	16.4	11.6	27.6	5.5	3.3
	千里NT・万博・阪大	214	43.9	37.4	21.5	13.6	10.7	33.2	2.3	2.8
	不明・無回答	15	13.3	20.0	13.3	6.7	6.7	26.7	6.7	26.7
職業別	常時雇用者	373	44.5	38.9	22.3	15.3	16.4	28.7	2.7	1.1
	臨時雇用者	203	50.7	42.4	31.0	19.2	14.8	20.7	3.9	1.5
	派遣社員	21	42.9	38.1	14.3	9.5	9.5	33.3	4.8	0.0
	内職	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	自営業主、自由業者	53	49.1	22.6	24.5	13.2	9.4	30.2	1.9	3.8
	家族従業者	10	70.0	60.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0
	経営者、重役、役員	32	56.3	28.1	15.6	15.6	15.6	21.9	0.0	3.1
	学生	43	39.5	25.6	11.6	16.3	7.0	37.2	4.7	2.3
	専業主婦・主夫	202	43.6	41.1	20.3	13.9	12.4	26.2	4.0	2.0
	無職	212	38.2	34.4	21.2	13.7	9.9	37.3	2.8	5.2
	不明・無回答	15	33.3	26.7	33.3	13.3	6.7	20.0	0.0	33.3
居住年数別	1年未満	35	51.4	28.6	22.9	11.4	17.1	20.0	2.9	0.0
	1～5年未満	142	42.3	39.4	22.5	11.3	21.1	26.1	3.5	0.7
	5～10年未満	109	53.2	43.1	29.4	14.7	13.8	25.7	0.9	0.0
	10～20年未満	210	46.7	35.7	20.5	16.2	10.0	28.1	4.3	2.4
	20～30年未満	187	40.1	34.8	21.4	18.7	10.2	32.1	4.3	1.6
	30～40年未満	181	44.2	38.7	20.4	15.5	11.0	32.0	2.8	2.8
	40～50年未満	160	48.1	41.3	26.3	16.3	15.0	26.9	0.6	3.8
	50年以上	128	37.5	34.4	21.1	13.3	12.5	31.3	4.7	6.3
	不明・無回答	13	46.2	30.8	23.1	15.4	23.1	7.7	0.0	23.1
定住意向別	住み続ける	697	47.6	40.0	24.8	17.9	14.5	26.0	2.2	2.3
	たぶん住み続ける	165	41.2	36.4	20.6	12.7	10.3	31.5	4.8	4.2
	たぶん引っ越す	119	51.3	41.2	24.4	11.8	16.0	21.8	1.7	1.7
	引っ越す	46	41.3	32.6	17.4	19.6	21.7	28.3	10.9	0.0
	わからない	130	28.5	23.8	14.6	6.9	4.6	46.9	4.6	2.3
	不明・無回答	8	37.5	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	37.5

※網掛け■は最も多いもの

(7) 吹田サッカースタジアムの入場経験

問59. あなたは、市立吹田サッカースタジアムに入場したことはありますか。
(いくつでも○印)

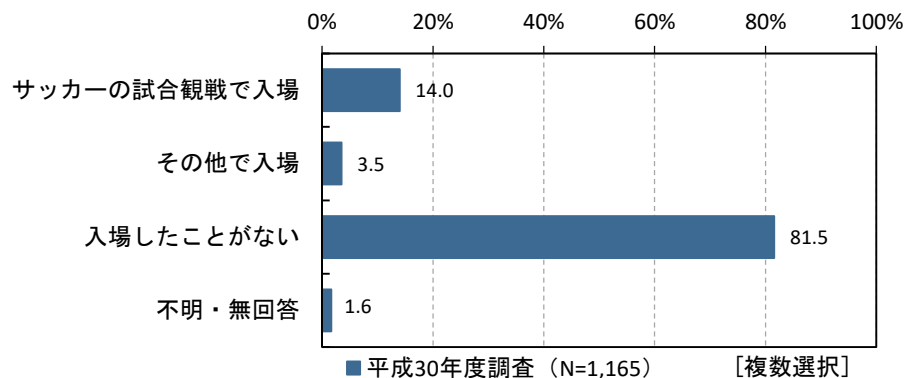


図 3. 10. 30 吹田サッカースタジアムの入場経験

- 吹田サッカースタジアムの入場経験 (図3. 10. 30) は、「入場したことがない」が最も多く 81.5%、次いで、「サッカーの試合観戦で入場」が14.0%、「その他で入場」が3.5%となっている。
- 性別 (表3. 10. 4) にみると、女性・男性ともに「入場したことがない」が最も多くなっており、その割合は男性 (79.0%) よりも女性 (83.5%) の方が4.5ポイント高くなっている。
- 年齢別にみると、「サッカーの試合観戦で入場」では、40歳代 (22.5%) が最も多くなっている。また、「その他で入場」では、30歳代 (5.1%) が最も多くなっている。
- 居住地域別にみると、「サッカーの試合観戦で入場」では、山田・千里丘地域 (22.5%) が最も多く、次いで、千里ニュータウン・万博・阪大地域 (13.1%) となっている。
- 職業別にみると、「サッカーの試合観戦で入場」では、派遣社員 (23.8%) が最も多く、次いで、常時雇用者 (20.4%) が2割台となっている。
- 居住年数別にみると、「サッカーの試合観戦で入場」では、5～10年未満 (19.3%) が最も多く、50年以上 (3.9%) が最も低くなっている。
- 定住意向別にみると、「サッカーの試合観戦で入場」では、引っ越す (10.9%) が最も低くなっている。

表 3.10.4 性別・年齢別・居住地域別・職業別・居住年数別・定住意向別 吹田サッカースタジアムの入場経験

(MA 単位：%)

		N (人)	サッカーの試合観戦で入場	その他で入場	入場したことがない	不明・無回答
全体		1,165	14.0	3.5	81.5	1.6
性別	女性	638	12.2	3.4	83.5	1.1
	男性	520	16.3	3.7	79.0	2.1
	その他	2	0.0	0.0	100.0	0.0
	不明・無回答	5	0.0	0.0	80.0	20.0
年齢別	30歳未満	118	16.9	2.5	80.5	0.8
	30歳代	157	17.2	5.1	77.7	0.6
	40歳代	231	22.5	4.8	73.2	0.9
	50歳代	204	14.2	2.5	83.3	0.5
	60歳代	192	10.9	2.1	87.0	1.0
	70歳以上	254	5.1	3.9	86.6	4.3
	不明・無回答	9	11.1	0.0	77.8	11.1
居住地域別	J R以南	106	10.4	6.6	81.1	1.9
	片山・岸部	151	10.6	3.3	86.1	0.7
	豊津・江坂・南吹田	204	10.8	2.0	87.7	1.0
	千里山・佐井寺	200	11.5	1.5	86.5	0.5
	山田・千里丘	275	22.5	6.5	71.3	1.1
	千里NT・万博・阪大	214	13.1	1.9	81.3	3.7
	不明・無回答	15	6.7	0.0	80.0	13.3
職業別	常時雇用者	373	20.4	3.5	76.4	0.8
	臨時雇用者	203	13.3	3.9	82.3	1.5
	派遣社員	21	23.8	0.0	76.2	0.0
	内職	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	自営業主、自由業者	53	11.3	1.9	84.9	1.9
	家族従業者	10	10.0	0.0	90.0	0.0
	経営者、重役、役員	32	12.5	0.0	84.4	3.1
	学生	43	14.0	7.0	79.1	2.3
	専業主婦・主夫	202	8.4	4.0	86.1	1.5
	無職	212	8.0	3.8	86.3	2.4
不明・無回答	15	20.0	0.0	66.7	13.3	
居住年数別	1年未満	35	11.4	0.0	88.6	0.0
	1～5年未満	142	12.7	4.2	83.8	0.0
	5～10年未満	109	19.3	5.5	77.1	0.0
	10～20年未満	210	18.6	3.8	78.6	0.5
	20～30年未満	187	16.0	1.1	82.4	0.5
	30～40年未満	181	14.4	3.3	81.2	1.7
	40～50年未満	160	10.6	5.6	81.9	2.5
	50年以上	128	3.9	3.1	87.5	5.5
	不明・無回答	13	23.1	0.0	53.8	23.1
定住意向別	住み続ける	697	14.5	4.3	80.6	1.4
	たぶん住み続ける	165	12.7	2.4	81.8	3.0
	たぶん引っ越す	119	12.6	2.5	85.7	0.0
	引っ越す	46	10.9	0.0	89.1	0.0
	わからない	130	14.6	3.1	82.3	0.8
	不明・無回答	8	25.0	0.0	37.5	37.5

※網掛け■は最も多いもの

(8) ガンバ大阪について

(8)-1 ガンバ大阪を身近に感じるか

問60. 本市はガンバ大阪のホームタウンですが、あなたは、ガンバ大阪を身近に感じますか。
(1つだけ○印)

※『感じる』:「感じる」と「時々感じる」の合計

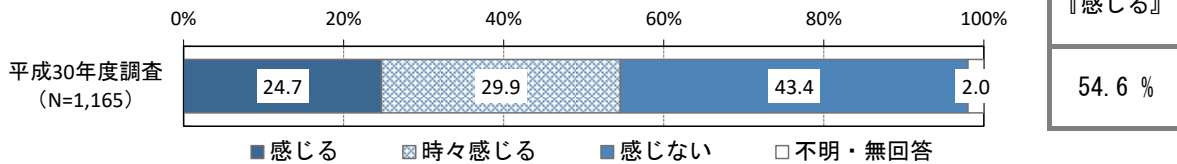


図 3. 10. 31 ガンバ大阪を身近に感じるか

- ガンバ大阪を身近に感じるか (図3. 10. 31) は、「感じない」が最も多く43.4%となっている。一方、『感じる』は、54.6%となっている。
- 性別 (図3. 10. 32) にみると、『感じる』では、男性 (52.7%) より女性 (56.3%) の方が割合が高くなっている。
- 年齢別にみると、『感じる』では、30歳未満 (57.6%) が最も多く、次いで、50歳代 (56.4%) となっている。
- 居住地域別にみると、『感じる』では、山田・千里丘地域 (66.9%) が最も多く、次いで、千里ニュータウン・万博・阪大地域 (57.9%) となっている。
- 職業別にみると、『感じる』では、派遣社員 (61.9%) が最も多く、次いで、臨時雇用者 (60.1%) となっている。
- 定住意向別にみると、『感じる』では、住み続ける (59.0%) が最も多く、次いで、わからない (50.8%) となっており、いずれも5割台となっている。

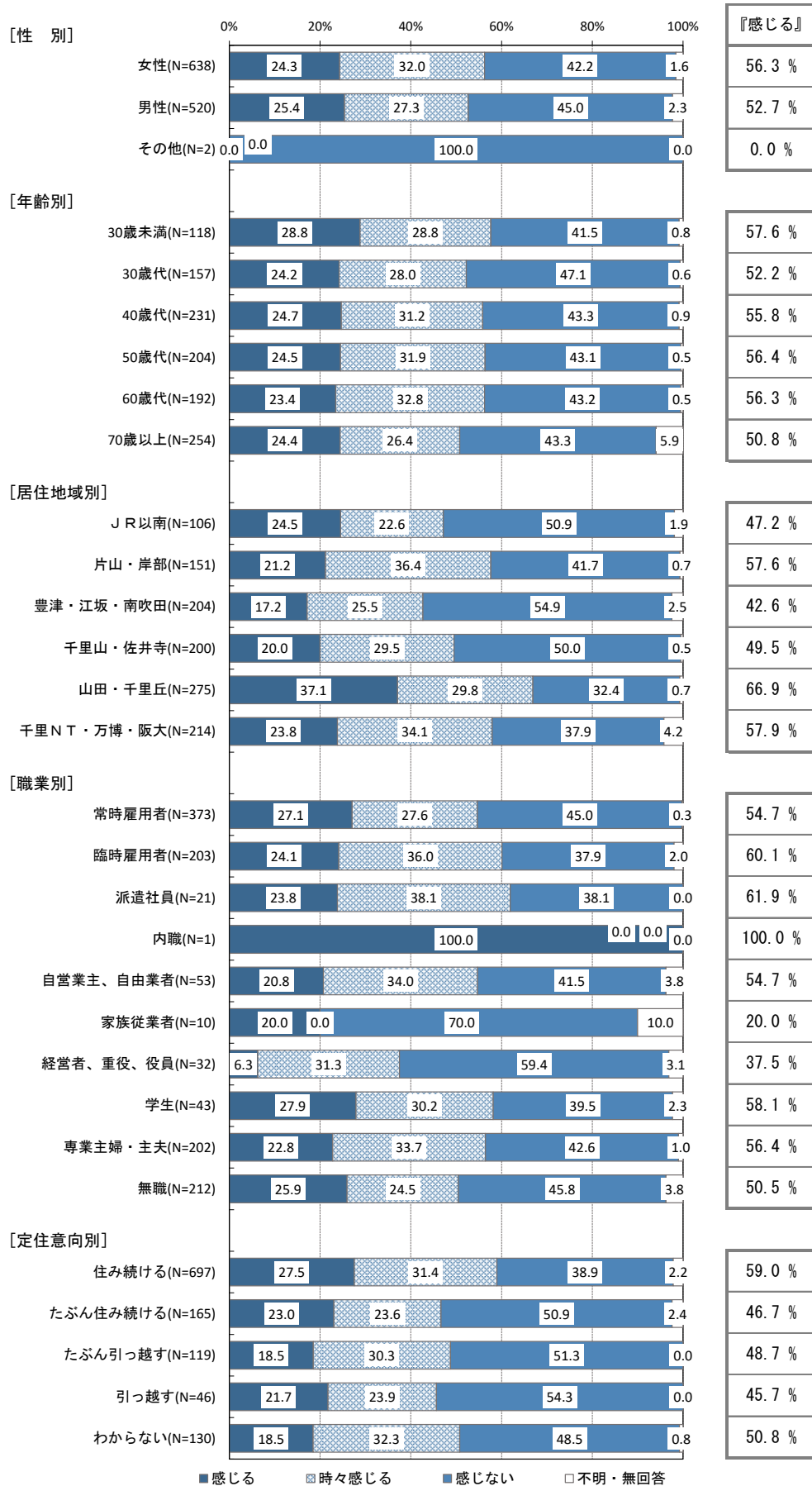
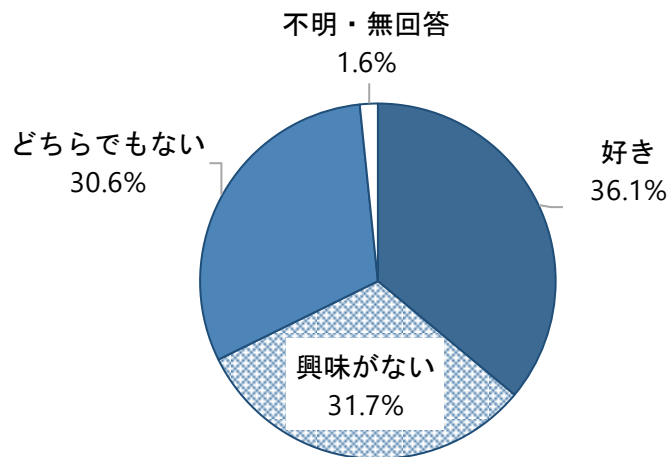


図 3.10.32 性別・年齢別・居住地域別・職業別・定住意向別 ガンバ大阪を身近に感じるか

(8)-2 ガンバ大阪の印象

問61. あなたは、ガンバ大阪が好きですか。(1つだけ○印)



(N=1,165)

図 3.10.33 ガンバ大阪の印象

- ガンバ大阪の印象 (図3.10.33) は、「好き」が最も多く36.1%、「興味がない」が31.7%、「どちらでもない」が30.6%となっている。
- 性別 (図3.10.34) にみると、女性・男性ともに「好き」が最も多くなっており、その割合は、女性 (34.8%) より男性 (37.5%) の方が2.7ポイント高くなっている。
- 年齢別にみると、「好き」では、30歳未満 (39.8%) で最も多く、50歳以上 (33.3%) が最も低くなっている。
- 居住地別にみると、「好き」では、山田・千里丘地域 (46.5%) が最も多く、豊津・江坂・南吹田地域 (29.9%) が最も低くなっている。
- 職業別にみると、「好き」では、学生 (41.9%) が最も高く、家族従業者 (20.0%) が最も低くなっている。
- 定住意向別にみると、「好き」では、住み続ける (40.6%) が最も高く、引っ越す (28.3%) が最も低くなっている。

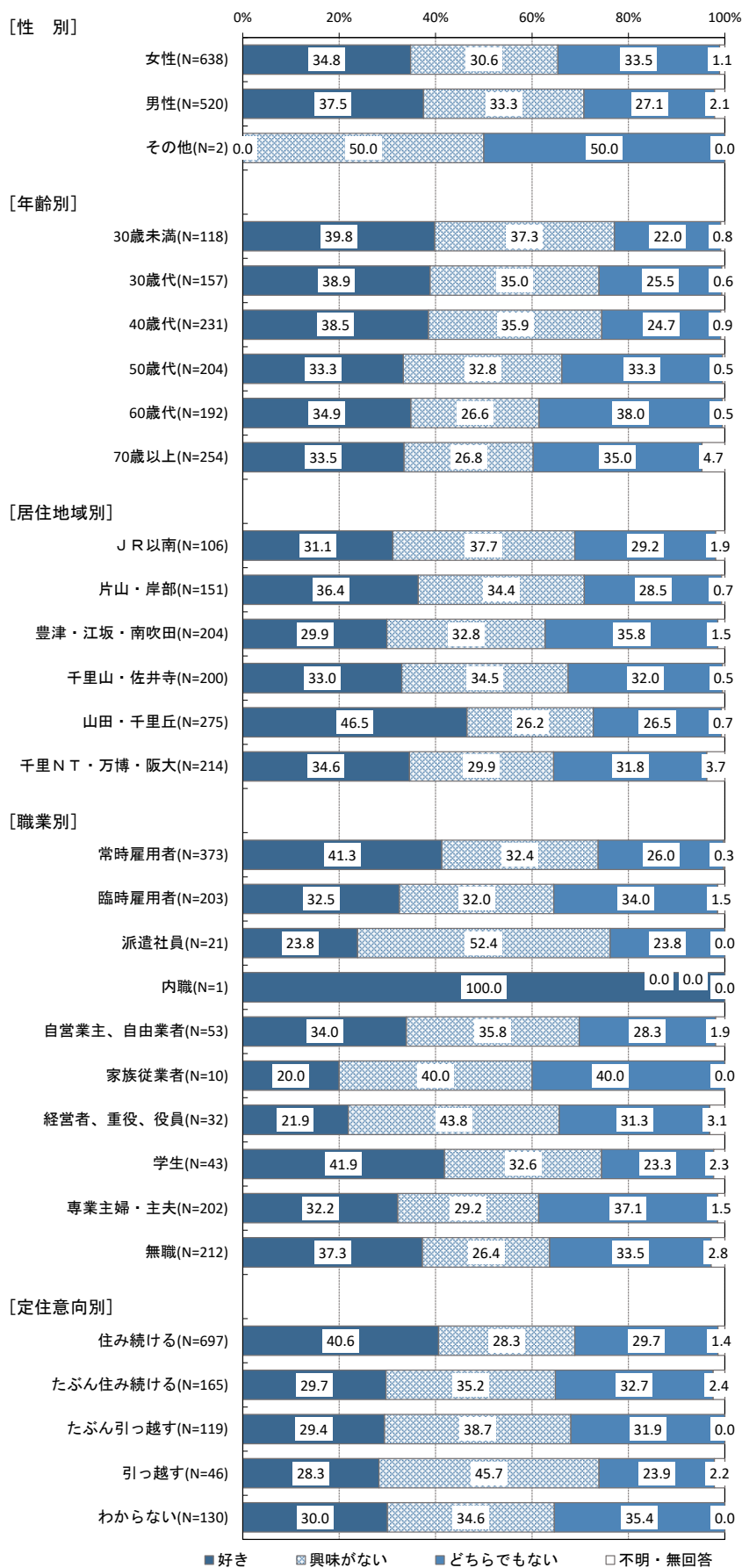
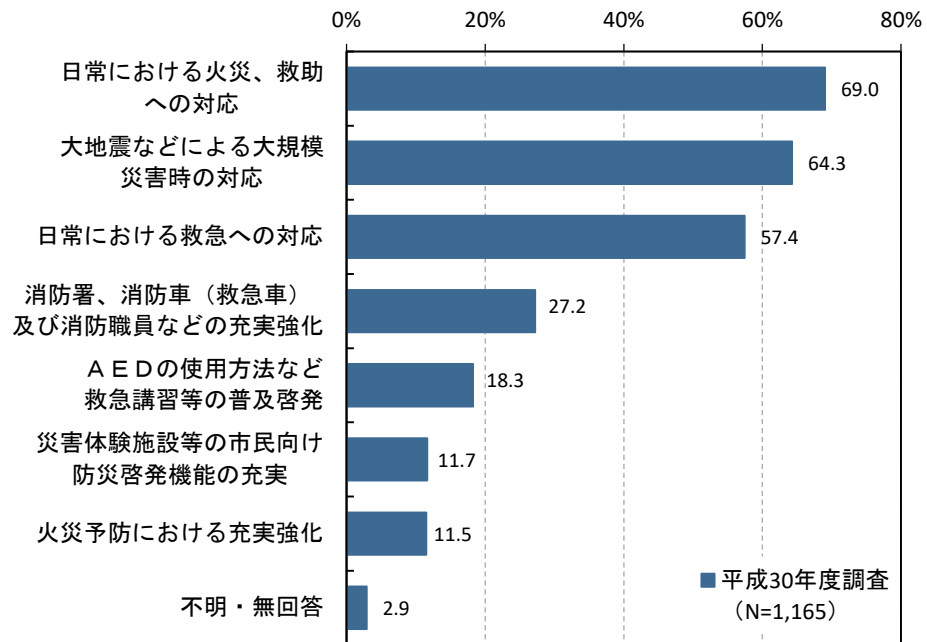


図 3. 10. 34 性別・年齢別・居住地域別・職業別・定住意向別 ガンバ大阪の印象

(9) 消防・救急救命体制において力を入れるべき項目

問62. 消防についておたずねします。消防・救急救命体制において、市はどのようなことに力を入れるべきですか。(3つまで○印)



[3つ以内で複数選択]

図 3.10.35 消防・救急救命体制において力を入れるべき項目

- 消防・救急救命体制において力を入れるべき項目(図3.10.35)は、「日常における火災、救助への対応」が最も多く69.0%、次いで、「大地震などによる大規模災害時の対応」が64.3%、「日常における救急への対応」が57.4%となっている。
- 性別(表3.10.5)にみると、女性・男性ともに「日常における火災、救助への対応」が最も多くなっている。
- 年齢別にみると、30歳未満から30歳代では「大地震などによる大規模災害時の対応」が最も多く、40歳代以上では「日常における火災、救助への対応」が最も多くなっている。
- 居住地域別にみると、全地域で「日常における火災、救助への対応」が最も多く7割前後となっている。また、「大地震などによる大規模災害時の対応」では、片山・岸部地域(68.2%)が最も高く、千里ニュータウン・万博・阪大地域(57.5%)が最も低くなっている。
- 職業別にみると、「日常における火災、救助への対応」では、自営業主、自由業者(84.9%)が最も多く、「大地震などによる大規模災害時の対応」では、派遣社員(76.2%)が最も多くなっている。

表 3.10.5 性別・年齢別・居住地域別・職業別 消防・救急救命体制において力を入れるべき項目

(MA 単位：%)

		N (人)	日常における火災、救助への対応	大地震などによる大規模災害時の対応	日常における救急への対応	消防署、消防車（救急車）及び消防職員などの充実強化	AEDの使用方法及び普及啓発	防災啓発機能の充実	火災予防における充実強化	不明・無回答
全体		1,165	69.0	64.3	57.4	27.2	18.3	11.7	11.5	2.9
性別	女性	638	69.1	67.9	59.6	26.6	18.3	11.8	9.9	3.0
	男性	520	68.8	60.6	55.0	27.7	17.9	11.5	13.7	2.7
	その他	2	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不明・無回答	5	60.0	0.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0	20.0
年齢別	30歳未満	118	57.6	76.3	55.1	22.0	22.0	5.9	11.9	2.5
	30歳代	157	72.6	76.4	56.1	17.8	21.0	9.6	12.1	1.9
	40歳代	231	71.0	63.2	64.5	24.7	22.5	9.5	9.1	1.3
	50歳代	204	69.1	64.7	60.8	27.0	18.6	14.7	9.3	1.5
	60歳代	192	71.9	58.3	60.4	34.4	14.1	13.0	13.5	2.1
	70歳以上	254	67.7	57.1	48.4	32.7	14.2	13.8	13.4	6.3
	不明・無回答	9	77.8	44.4	44.4	22.2	11.1	22.2	11.1	22.2
居住地域別	J R以南	106	68.9	62.3	59.4	35.8	12.3	9.4	11.3	3.8
	片山・岸部	151	70.9	68.2	55.0	24.5	21.9	14.6	9.3	3.3
	豊津・江坂・南吹田	204	68.6	63.7	57.4	26.0	21.6	10.3	11.3	2.5
	千里山・佐井寺	200	70.0	67.0	56.5	23.5	15.5	10.5	13.5	1.5
	山田・千里丘	275	68.0	66.9	58.2	28.7	17.8	12.7	10.5	2.5
	千里NT・万博・阪大	214	68.2	57.5	58.4	28.5	19.2	11.7	12.6	3.7
	不明・無回答	15	73.3	60.0	53.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3
職業別	常時雇用者	373	68.1	65.1	58.2	26.3	23.3	11.5	11.3	1.6
	臨時雇用者	203	73.4	64.5	61.1	26.6	19.2	13.3	10.8	2.0
	派遣社員	21	66.7	76.2	61.9	19.0	4.8	0.0	9.5	4.8
	内職	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業主、自由業者	53	84.9	58.5	49.1	24.5	26.4	11.3	17.0	0.0
	家族従業者	10	80.0	40.0	50.0	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0
	経営者、重役、役員	32	78.1	68.8	56.3	21.9	9.4	18.8	15.6	0.0
	学生	43	53.5	72.1	53.5	18.6	16.3	2.3	11.6	4.7
	専業主婦・主夫	202	67.8	68.8	58.9	30.7	18.3	10.4	9.9	2.0
	無職	212	65.6	58.5	55.7	31.1	9.9	13.7	13.2	6.6
不明・無回答	15	66.7	46.7	40.0	13.3	6.7	13.3	0.0	20.0	

※網掛け■は最も多いもの

(10) 消防団の入団意向

問63. あなたは、地域の方々と結成している消防団に入団したいと思いますか。
(1つだけ○印)

※『入団したい』:「入団したい」と「条件が合えば入団したい」の合計

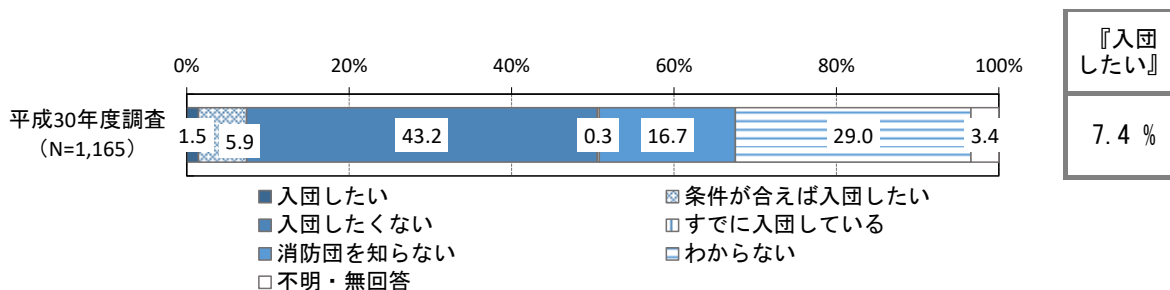


図 3.10.36 消防団の入団意向

- 消防団の入団意向 (図3.10.36) は、「入団したくない」が最も多く43.2%、次いで、「わからない」が29.0%となっており、『入団したい』は7.4%となっている。
- 性別 (表3.10.6) にみると、『入団したい』では、女性 (5.2%) より男性 (9.8%) の方が高くなっている。
- 年齢別にみると、『入団したい』では、50歳代 (11.3%) が最も多くなっている。一方、「入団したくない」では、60歳代 (46.9%) が最も多くなっている。また、「消防団を知らない」では、30歳代 (22.3%) が最も多くなっている。
- 居住地域別にみると、『入団したい』では、JR以南地域 (9.4%) が最も多くなっている。一方、「入団したくない」では、豊津・江坂・南吹田地域 (46.1%) が最も多くなっている。また、「消防団を知らない」では、千里ニュータウン・万博・阪大地域 (23.8%) が最も多くなっている。
- 職業別にみると、『入団したい』では、常時雇用者 (10.7%) が最も多くなっている。一方、「入団したくない」では、自営業主、自由業者 (54.7%) が最も多くなっている。また、「消防団を知らない」では、臨時雇用者 (22.2%) が最も多くなっている。

表 3.10.6 性別・年齢別・居住地域別・職業別 消防団の入団意向

(単位：%)

	N (人)	『入団したい』			入団したくない	すでに入団している	消防団を知らない	わからない	不明・無回答	
		入団したい	条件が合えば入団したい	入団したい						
全体	1,165	7.4	1.5	5.9	43.2	0.3	16.7	29.0	3.4	
性別	女性	638	5.2	1.6	3.6	44.4	0.2	16.9	29.8	3.6
	男性	520	9.8	1.3	8.5	41.7	0.4	16.7	28.1	3.3
	その他	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不明・無回答	5	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0
年齢別	30歳未満	118	8.5	1.7	6.8	41.5	0.0	19.5	28.8	1.7
	30歳代	157	8.3	0.6	7.6	42.7	0.0	22.3	26.1	0.6
	40歳代	231	7.8	0.9	6.9	41.1	0.0	18.2	30.3	2.6
	50歳代	204	11.3	3.4	7.8	41.2	0.0	16.7	29.4	1.5
	60歳代	192	5.2	1.6	3.6	46.9	0.0	16.1	31.3	0.5
	70歳以上	254	3.9	0.8	3.1	45.3	1.2	11.4	27.6	10.6
	不明・無回答	9	22.2	0.0	22.2	33.3	0.0	11.1	33.3	0.0
居住地域別	J R以南	106	9.4	3.8	5.7	44.3	0.0	6.6	35.8	3.8
	片山・岸部	151	6.6	2.0	4.6	41.1	0.0	13.9	35.1	3.3
	豊津・江坂・南吹田	204	8.3	1.0	7.4	46.1	0.5	15.2	27.9	2.0
	千里山・佐井寺	200	7.5	1.0	6.5	44.0	0.5	20.5	25.5	2.0
	山田・千里丘	275	7.3	1.1	6.2	41.8	0.4	16.0	30.9	3.6
	千里NT・万博・阪大	214	5.1	1.4	3.7	43.0	0.0	23.8	22.9	5.1
	不明・無回答	15	20.0	0.0	20.0	33.3	0.0	0.0	33.3	13.3
職業別	常時雇用者	373	10.7	1.6	9.1	42.4	0.0	20.4	24.9	1.6
	臨時雇用者	203	6.9	2.5	4.4	37.9	1.0	22.2	31.5	0.5
	派遣社員	21	0.0	0.0	0.0	42.9	4.8	9.5	42.9	0.0
	内職	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	自営業主、自由業者	53	7.5	1.9	5.7	54.7	0.0	7.5	28.3	1.9
	家族従業者	10	10.0	0.0	10.0	40.0	0.0	10.0	40.0	0.0
	経営者、重役、役員	32	3.1	0.0	3.1	50.0	0.0	12.5	34.4	0.0
	学生	43	9.3	2.3	7.0	34.9	0.0	16.3	37.2	2.3
	専業主婦・主夫	202	4.5	0.5	4.0	48.0	0.0	15.3	27.2	5.0
	無職	212	5.2	1.4	3.8	45.3	0.0	10.4	31.1	8.0
	不明・無回答	15	13.3	0.0	13.3	13.3	0.0	13.3	33.3	26.7

※網掛け■は最も多いもの